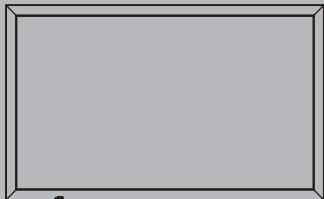
Panasonic®

品　番
TH-65LFB70J　(65V型)
TH-50LFB70J　(50V型)

取扱説明書
ディスプレイ編

タッチスクリーン液晶ディスプレイ（業務用）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3～6ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-50LFB70J（50V型）、TH-65LFB70J（65V型）共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
  お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

HDMI

もくじ

お使いになる前に
- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主にTH-50LFB70J を元に作成しています。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

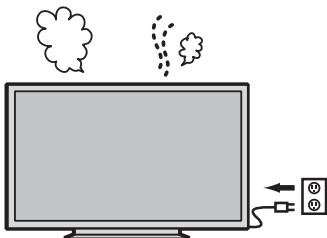
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

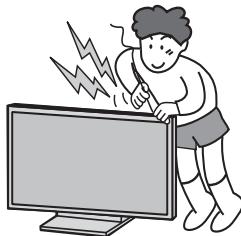
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■ 故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください

電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■ 内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

■ 壁掛けまたは天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売オプションをご使用ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ ペン立て固定用ねじは乳幼児の手の届くところに置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

- 表紙および 3 ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 警告

電源コードについて

■ **クラスⅠ構造の本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください。**

■ **電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください**

■ **付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。**

火災や感電の原因となります。

■ **電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください**

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

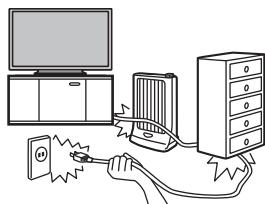
■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください**

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外では使用しないでください**

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ **電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください**

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ **アースは確実に行ってください**

感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

■ **上に水などの液体の入った容器を置かないでください**

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器）

■ **ぬらしたりしないでください**

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■ **雷が鳴りだしたら本機には触れないでください**

接触禁止

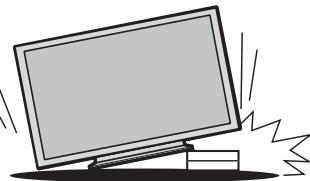
感電の原因となります。

⚠警告

■ 風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

⚠注意

■ 本機の通風孔をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

● 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。(工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。)
● 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■ 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■ 本機に脚立を立てかけるなどしないでください

落下してけがの原因となることがあります。

■ 上に物を置かないでください

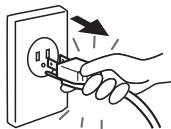
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

■ **電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください**

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ **移動させる場合は、接続線を外してください**

コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグや機器間の接続線や転倒防止具を外したことを確認のうえ、行ってください。
●本機に衝撃を与えないでください。

■ **接続ケーブルの処理は確実に行ってください**

ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

■ **新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください**

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ **強い力や衝撃を加えないでください**

ディスプレイパネルが割れてけがの原因となることがあります。

■ **長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください**

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■ **据置きスタンド（別売）をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください**

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

●据置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

■ **開梱や持ち運びは次の人数で行なってください**
TH-50LFB70J：2人以上
TH-65LFB70J：4人以上

落下してけがの原因になることがあります。

■ **接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

●特に、お子様にはご注意ください。

■ **電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください**

機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

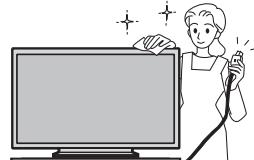
お手入れについて

■ **1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください**

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■ **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください**

電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

- **機器相互の干渉に注意してください。**

  電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。

- **機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**

  各機器の説明書に従って、接続してください。

- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**

  本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

- **本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**

  指定の取り付けユニットをご使用ください。

- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**

  高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

- **直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**

  キャビネットの変形や故障の原因となります。

- **本機を移動されるとき。**

  ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

- **直射日光にさらされる様な場所に設置しないでください。**

  直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

■ ご使用になるとき

- **本機は残像が発生することがあります。**

  静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

- **画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。**

  液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

- **ディスプレイパネル表面について**

  ディスプレイパネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。
  傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

- **適度の音量で隣近所への配慮を**

  特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

- **ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。**

  前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

- **長時間ご使用にならないときは**

  電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
  リモコンで電源を切った場合は約 0.5 W、本体の電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- **キャビネットやディスプレイパネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく**

  ・ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  ・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

  （お知らせ）ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

- **赤外線透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。**

  1日1回は、赤外線透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。
  赤外線透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。
  ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- **化学ぞうきんのご使用について**

  ・ディスプレイパネルの表面には使用しないでください。
  ・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

- **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない**

  キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

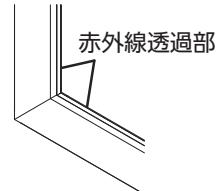
- **1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。**

  内部にほこりがたまると、タッチ検出のための赤外線ビームの光量が低下して、動作不良になることがあります。1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。

お手入れ／上手な使いかた

■ タッチパネルについて

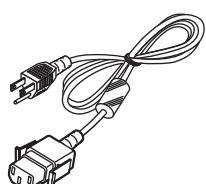
本機は光学式タッチパネルを搭載しています。下記の事項をお守りください。

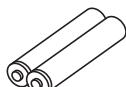
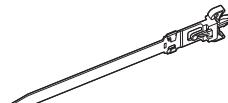
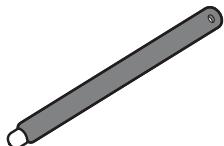
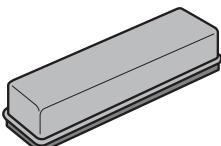
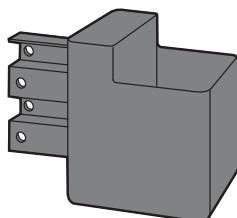
- **直射日光の当たる所や強力な光源に近い所で使用しないでください。**
  本機は赤外線を使った光学式タッチパネルですので、影響を受け誤作動の原因となります。
- **本機の電源を入れてから映像が表示されるまで、赤外線透過部および画面にふれないでください。**
  素子不良として検出され、正常に動作しなくなります。その場合は本機の電源を入れなおしてください。

- **タッチパネルの操作には必ず指先か付属のペンをご使用ください。爪やボールペン、鉛筆など、硬いものや先が尖ったもので操作しないでください。**
- **赤外線を使用した他の機器をご使用の場合は、誤動作しないよう離れた所でご使用ください。**

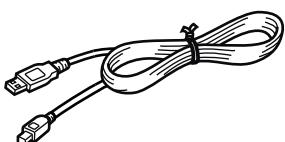
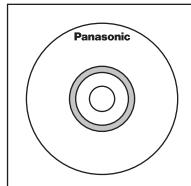
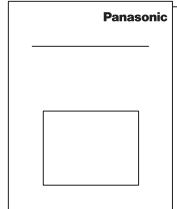
付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。(　　）は個数です。

お願い　乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。

□ 電源コード（1）

□ リモコン（1）
N2QAYB000691

□ 単３形乾電池（2）
（リモコン用）

□ クランパー（1）
TMME289

□ ペン（2）

□ 黒板消し（1）

□ ペン立て（1）
☞ 10ページ

□ ねじ（2）
☞ 10ページ

□ USB ケーブル（1）

□ ソフトウェア CD-ROM（1）

□ 取扱説明書

CD-ROMの内容について

付属品のCD-ROMには、以下の内容が収録されています。

説明書（PDF）	取扱説明書　ディスプレイ編	
	取扱説明書　ネットワーク操作編	
	ワイヤレスマネージャー ME 取扱説明書	
	ソフトウェアライセンス文	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
ソフトウェア	ホワイトボードソフトウェア （Windows）	ディスプレイをホワイトボードとして使用できるソフトウェアです。 パソコンにインストールすることなく、外部メモリーから直接起動できます。 （☞ 47 ページ）
	ワイヤレスマネージャー ME （Windows/Mac）	パソコンの画面をワイヤレス／有線 LAN 送信するためのソフトウェアです。 入力を Panasonic APPLICATION に切り換えて使用します。詳しい操作方法はワイヤレスマネージャー ME の取扱説明書をご覧ください。

別売オプション

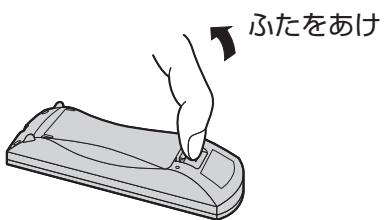
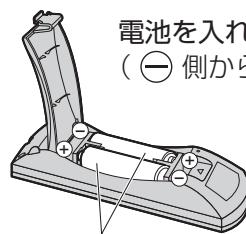
別売オプションの設置は、しっかり取り付けてください。（取り付けは専門の業者にご依頼ください。）

- 据え置きスタンド ：TY-ST42P50（50V型用）※
  TY-ST65P20（65V型用）
- ディスプレイ用移動式スタンド ：
  TY-ST50PB2（50V型用）
  TY-ST65PB2（65V型用）
- 移動式スタンド：TY-ST58PF20（50V型用）
- 壁掛け金具　垂直取付型：TY-WK42PV20（50V型用）
- 壁掛け金具　角度可変型：TY-WK42PR20（50V型用）
  TY-WK65PR20（65V型用）
- 天吊り金具：TY-CE42PS20（50V型用）
- デュアルビデオ端子（BNC）ボード：TY-FB9BD
- DVI-D端子ボード　：TY-FB11DD
- Dual Link HD-SDI端子ボード：TY-FB11DHD
- HD-SDI端子ボード：TY-FB9HD
- HD-SDI端子ボード（音声対応）：TY-FB10HD
- デュアルHDMI端子ボード ：TY-FB10HMD
- デジタルインターフェースボックス：ET-YFB100

お願い

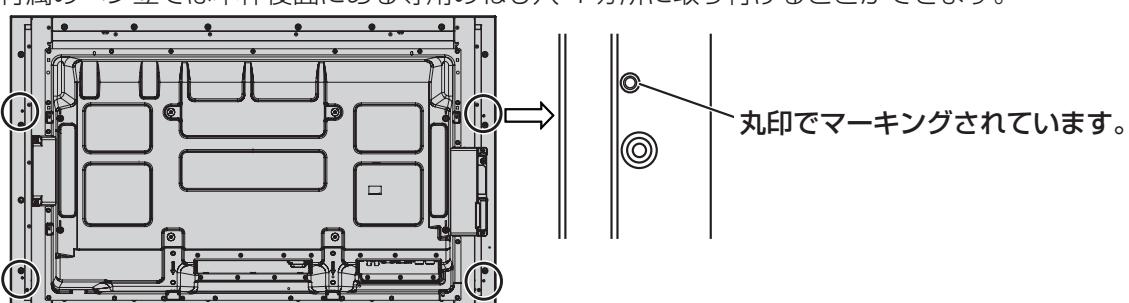
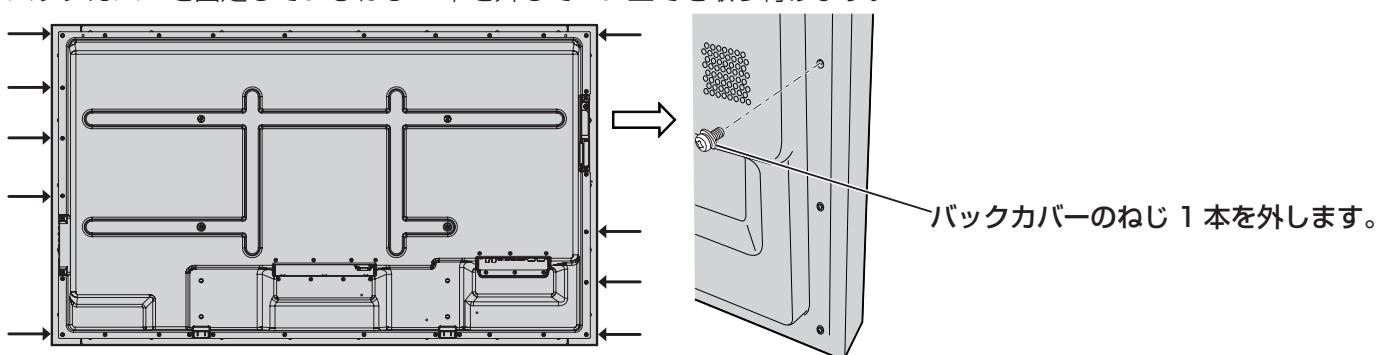
- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けまたは天吊りの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 当社製以外のスタンド、壁掛け金具または天吊り金具の使用、ならびにスタンド、壁掛け金具または天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

※TY-ST42P50ご使用時のお願い（50V型用）
スタンドポールは“プラズマディスプレイ用（長い）”（品番:TBLA3679、TBLA3680）をご使用ください。

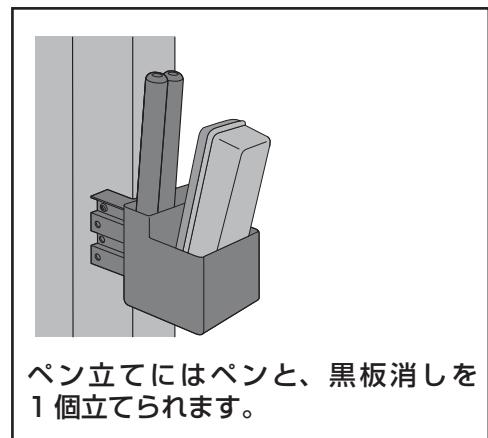
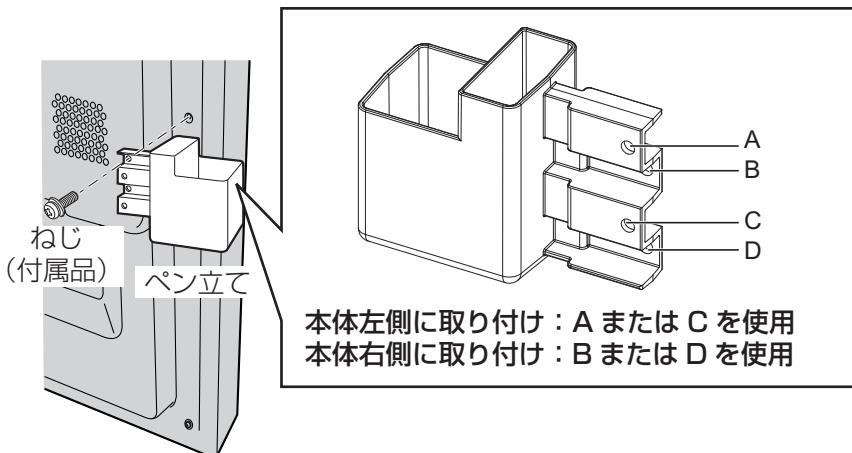
リモコンの電池の入れかた

お願い
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
  また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

ペン立ての取り付け

ペン立ての取り付け位置

TH-50LFB70J
付属のペン立ては本体後面にある専用のねじ穴４ヵ所に取り付けることができます。

TH-65LFB70J
付属のペン立ては本体後面の９ヵ所に取り付けることができます。
バックカバーを固定しているねじ１本を外してペン立てを取り付けます。

取り付け

付属のねじ１本でペン立てを取り付けます。

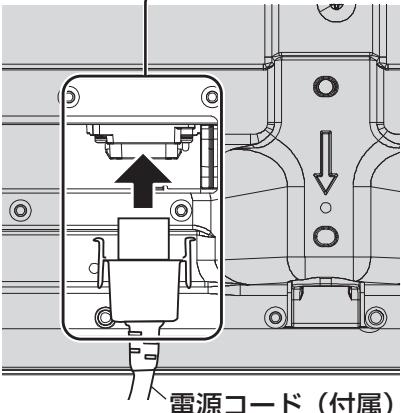
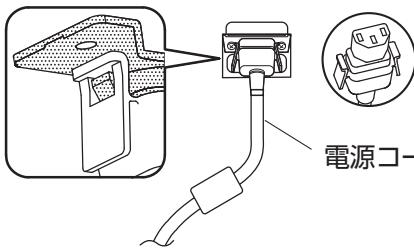
ペン立てにはペンと、黒板消しを１個立てられます。

電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

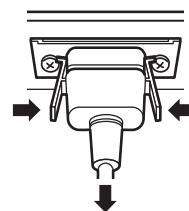
お願い

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

電源コードの固定方法

お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

電源プラグを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

電源コードを外すとき

電源プラグ横のつまみを押しながら抜いてください

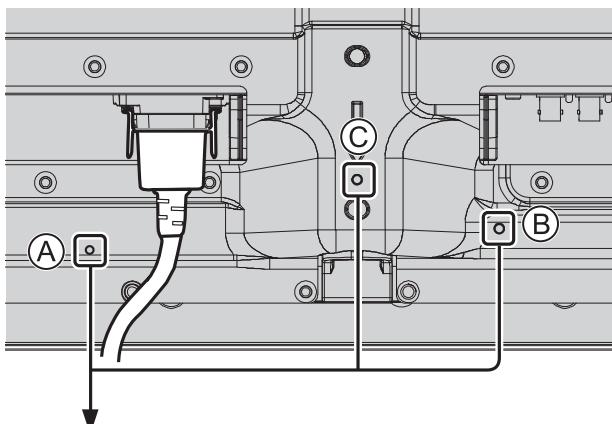
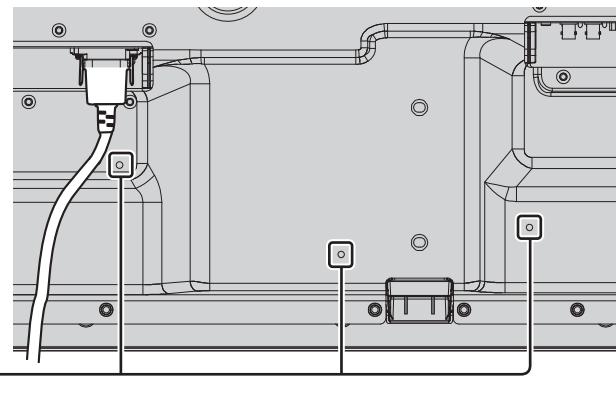
お願い

電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

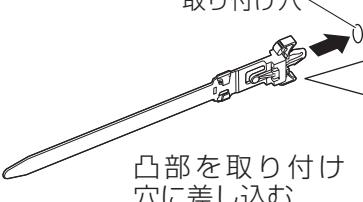
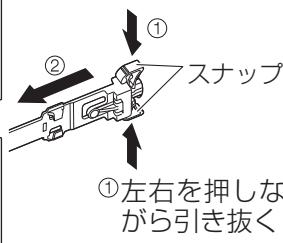
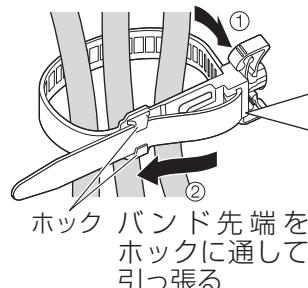
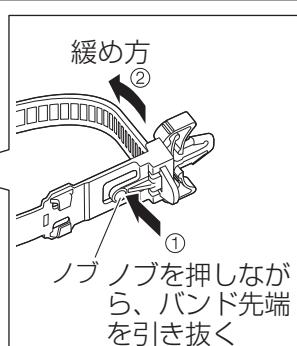
壁掛け金具（垂直取り付け型）で設置するとき（TH-50LFB70J）

お願い

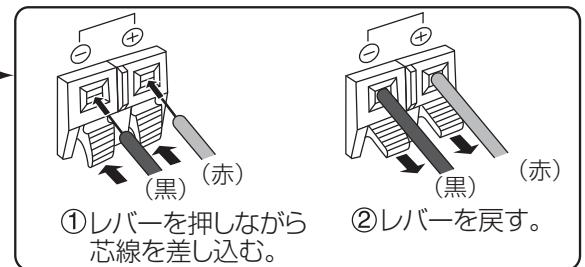
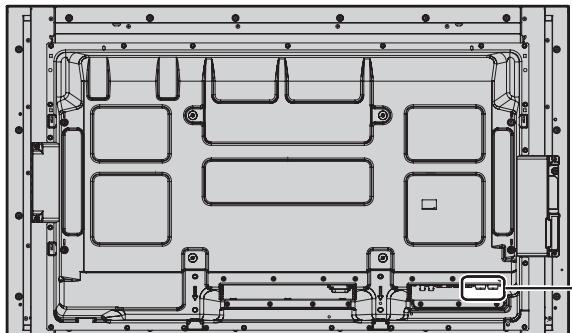
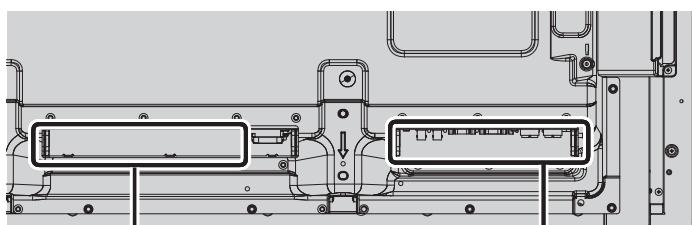
壁掛け金具（垂直取り付け型）（TY-WK42PV20）をご使用のときは、Ⓐおよび Ⓑの2 ヵ所でケーブルを固定してください。Ⓒの穴にクランパーを取り付けると、壁掛け金具に挟み込むおそれがあります。

TH-50LFB70J

TH-65LFB70J

接続ケーブルの固定

お願い

本機はクランパーを1本だけ付属しています。ケーブルを3 ヵ所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。クランパーをご用意される場合はお買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

接続

スピーカー端子の接続

8Ω、10Wのスピーカーをご使用ください。

映像機器の接続

SLOT： 端子ボード(別売オプション)取付用スロット (☞10ページ)

お知らせ

右側のスロットは2スロット幅の端子ボード用です。右側に1スロット幅のボードを取り付けても動作しません。

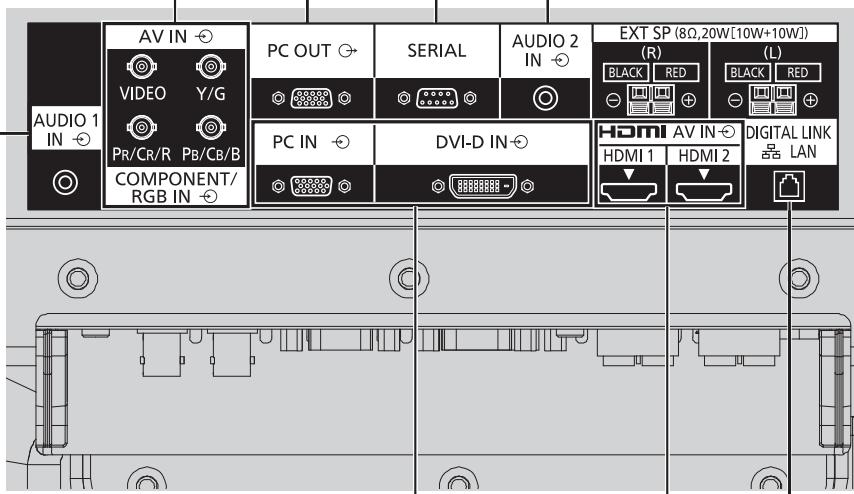
AV IN (VIDEO)：
コンポジットビデオ入力端子
(☞13ページ)
COMPONENT/RGB IN：
コンポーネント/RGBビデオ入力端子 (☞13ページ)

PC OUT：
モニターアウト端子
本機に表示している映像信号をパソコンの映像信号として他のサブモニターに出力します。
(☞17ページ)

SERIAL:
シリアル制御端子
パソコンに接続して本機を制御します。
(☞16ページ)

AUDIO 2 IN:
DVI-D INとPC IN共用の音声入力端子
(☞14·15ページ)

AUDIO 1 IN:
VIDEOとCOMPONENT/RGB IN共用の音声入力端子
(☞13ページ)

AUDIO 1 IN
AV IN
VIDEO
Y/G
PR/CR/R
PB/CB/B
COMPONENT/RGB IN
PC OUT
SERIAL
AUDIO 2 IN
EXT SP (8Ω,20W[10W+10W])
(R)
(L)
BLACK
RED
PC IN
DVI-D IN
HDMI AV IN
HDMI 1
HDMI 2
DIGITAL LINK
LAN

PC IN： パソコン入力端子
パソコンの映像端子または「Y、PB(CB)、PR(CR)」出力のある機器を接続します。
(☞15ページ)
DVI-D IN： DVI-D入力端子(☞14ページ)

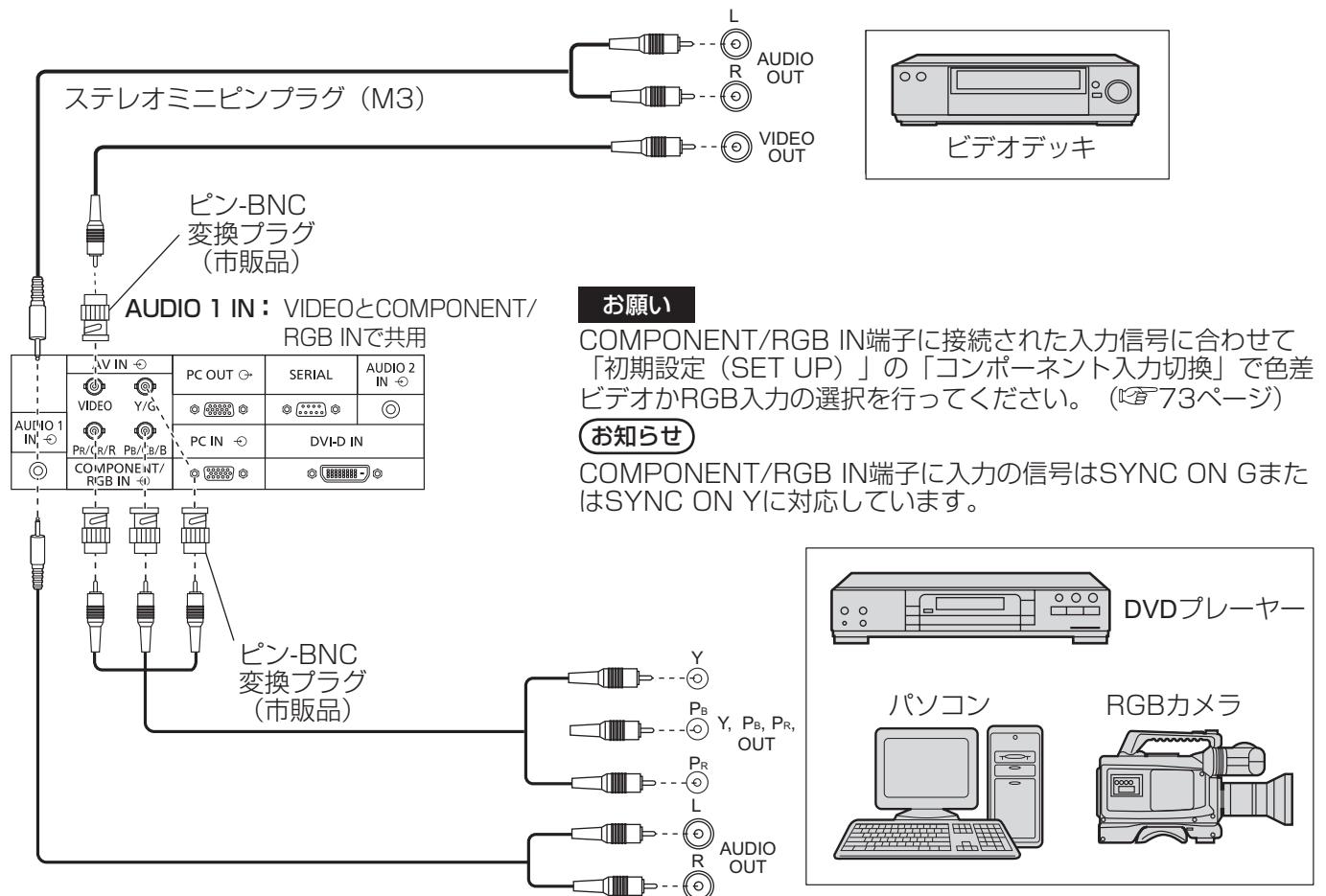
AV IN (HDMI 1、HDMI 2):
HDMI入力端子
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像機器を接続します。
(☞14ページ)

LAN、DIGITAL LINK※：
DIGITAL LINK入力端子
ネットワークに接続して本機を制御します。または、DIGITAL LINK端子経由で映像·音声信号を送出する機器を接続します。(☞18ページ)

※ DIGITAL LINK は、映像・音声などの信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。
詳しくは取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

VIDEO（ビデオ入力）端子、COMPONENT RGB IN（コンポーネント／ RGB入力）端子の接続例

お知らせ

映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

お願い

COMPONENT/RGB IN端子に接続された入力信号に合わせて「初期設定（SET UP）」の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB入力の選択を行ってください。（☞73ページ）

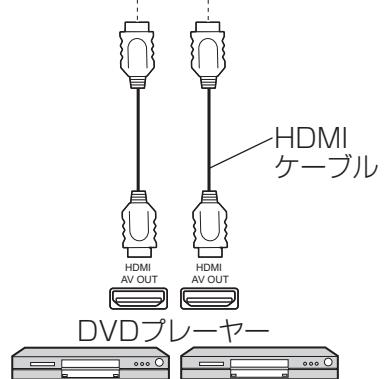
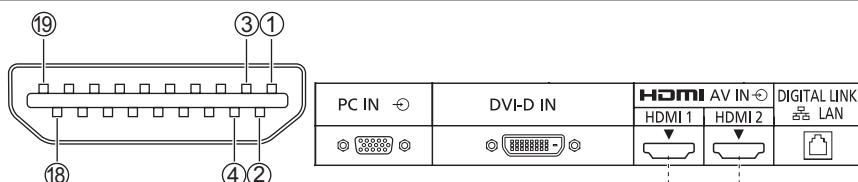
お知らせ

COMPONENT/RGB IN端子に入力の信号はSYNC ON GまたはSYNC ON Yに対応しています。

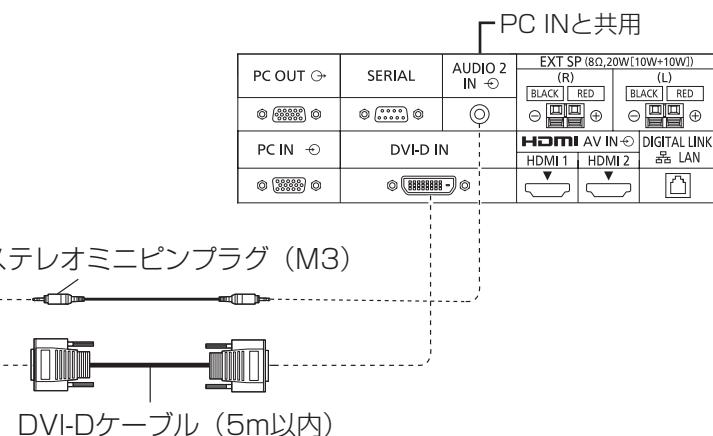
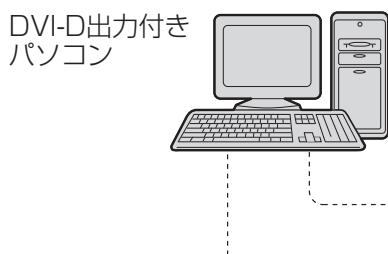
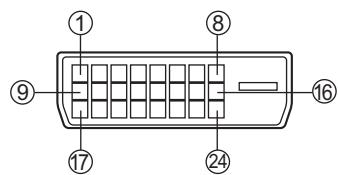
接続

HDMI 1・HDMI 2（HDMI入力）端子の接続例

HDMI端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ2 ＋	⑪	T.M.D.S クロックシールド
②	T.M.D.S データ2 シールド	⑫	T.M.D.S クロックー
③	T.M.D.S データ2 －	⑬	CEC
④	T.M.D.S データ1 ＋	⑭	予備 (接続なし)
⑤	T.M.D.S データ1 シールド		
⑥	T.M.D.S データ1 －	⑮	SCL
⑦	T.M.D.S データ0 ＋	⑯	SDA
⑧	T.M.D.S データ0 シールド	⑰	DDC/CEC グランド
⑨	T.M.D.S データ0 －	⑱	+5V 電源
⑩	T.M.D.S クロック+	⑲	ホットプラグ検出

お知らせ

映像機器やHDMIケーブルは本機に付属していません。

DVI-D IN（DVI-D入力）端子の接続例

DVI-D入力端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 －	⑬	―――
②	T.M.D.S. データ 2 ＋	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	―――	⑯	ホットプラグ検出
⑤	―――	⑰	T.M.D.S. データ 0 －
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 ＋
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	―――	⑳	―――
⑨	T.M.D.S. データ 1 －	㉑	―――
⑩	T.M.D.S. データ 1 ＋	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック ＋
⑫	―――	㉔	T.M.D.S. クロック －

お願い

DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

お知らせ

映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

PC IN（パソコン入力）端子の接続例

接続できるパソコン信号の種類

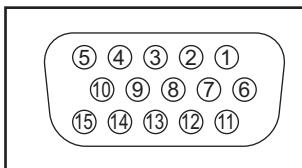
● 本機は、下の表に記載の代表的な 32 種類のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。
（対応周波数は水平：15 kHz ～ 110 kHz、垂直：48 Hz ～ 120 Hz です。）
〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉　※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

640×400:70 Hz	800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1600×1200:65 Hz
640×480:60 Hz	800×600:75 Hz	1280×800:60 Hz	1066×600:60 Hz ※
640×480:72 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:60 Hz	1366×768:60 Hz ※
640×480:75 Hz	1024×768:60 Hz	1280×960:85 Hz	1440×900:60 Hz
640×480:85 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:60 Hz	1920×1080:60 Hz
852×480:60 Hz ※	1024×768:75 Hz	1280×1024:75 Hz	640×480:67 Hz（Mac13"）
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1280×1024:85 Hz	832×624:75 Hz（Mac16"）
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1600×1200:60 Hz	1152×870:75 Hz（Mac21"）

● 解像度は「ノーマル」で最大1440×1080ドット、「フル」で最大1920×1080ドットの表示が可能です。（SXGA 対応）
水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
● 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
● パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。（パソコンの取扱説明書をご確認ください）

お願い この端子（ミニD-sub15 ピン）は、コンポーネント（色差）ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB 入力の選択を行ってください。（☞ 73 ページ）

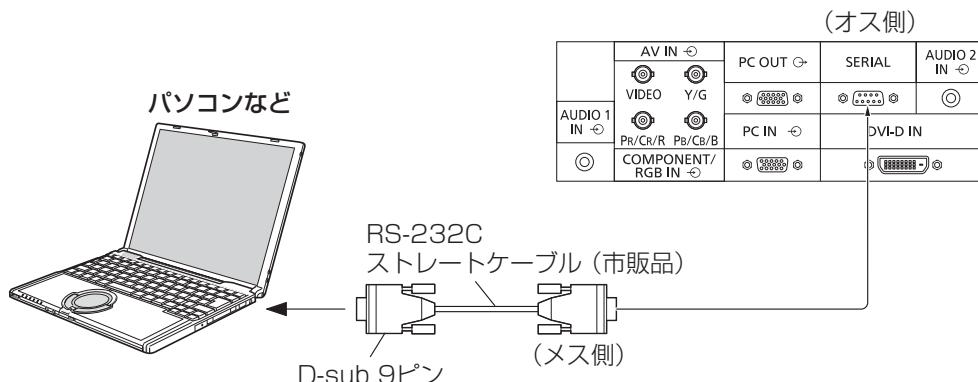
お知らせ
● ディスプレイのプラグ･アンド･プレイ（DDC2B）に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
● パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
● D-sub15 ピン端子の機種やMacintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※パソコンのミニD-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子（ミニD-sub15ピン）のピン配列と信号名

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R(P_R / C_R)	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G(Y)	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B(P_B / C_B)	⑧	GND(アース)	⑬	HD ／ SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

接続

SERIAL（シリアル）端子の接続例（パソコンで制御する場合）

SERIAL（シリアル）端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。

お知らせ　本機をシリアル制御する場合は「ネットワーク設定」メニューの「制御端子選択」を必ず「RS-232C」に設定してください。（☞ 取扱説明書「ネットワーク操作編」）

お願い　SERIAL（シリアル）端子とパソコンをつなぐ通信用RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名

⑨ ⑧ ⑦ ⑥
⑤ ④ ③ ② ①

本体側
シリアル〈SERIAL〉端子

ピンNo.	信号名	内　容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グランド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS	（本体側で短絡）
⑧	CTS	
⑨	RI	NC

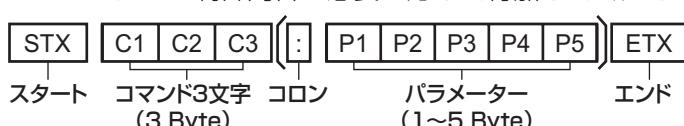
※ パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期（非同期）
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

STX	C1	C2	C3	:	P1	P2	P3	P4	P5	ETX
スタート	コマンド3文字（3 Byte）			コロン	パラメーター（1~5 Byte）					エンド

お願い　複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン（:）は必要ありません。

お知らせ
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドIMSのS1AとS1Bを選択できるのは、2入力の端子ボード装着時のみです。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。

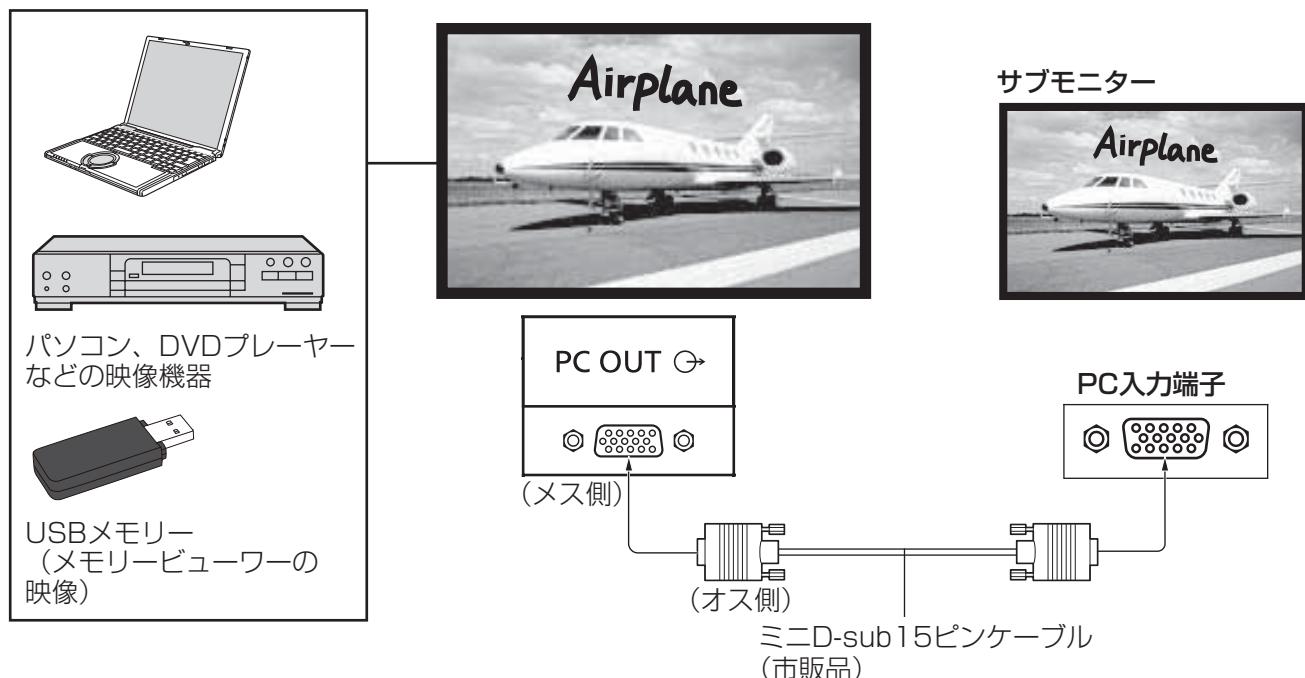
コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	＊＊	音量 00 ~ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切換（トグル）
	SL1	SLOT入力（SLOT INPUT）
	S1A	SLOT入力（SLOT INPUT A）
	S1B	SLOT入力（SLOT INPUT B）
	VD1	VIDEO入力（VIDEO）
	YP1	COMPONENT/RGB IN入力（COMPONENT）
	HM1	HDMI 1入力（HDMI1）
	HM2	HDMI 2入力（HDMI2）
	DV1	DVI-D IN入力（DVI）
	PC1	PC IN入力（PC）
	DL1	DIGITAL LINK入力（DIGITAL LINK）
	MG1	Miracast入力 (Miracast(TM))
	MV1	メモリービューワー入力（MEMORY VIEWER）
	WB1	ホワイトボード入力（WHITEBOARD）
DAM	なし	画面モード切換（トグル）
	ZOOM	ズーム（ビデオ/SD/パソコン信号時）
	FULL	フル
	JUST	ジャスト（ビデオ/SD信号時）
	NORM	ノーマル（4：3）（ビデオ/SD/パソコン信号時）
	ZOM2	サイドカットズーム（HD信号時）
	SJST	サイドカットジャスト（HD信号時）
	SNOM	サイドカットノーマル（HD信号時）
	SFUL	サイドカットフル（HD信号時）

PC OUT（モニターアウト）端子の接続例

映像機器からの入力映像やホワイトボードでの描画映像など、本機に表示している映像を他のサブモニターに表示できます。

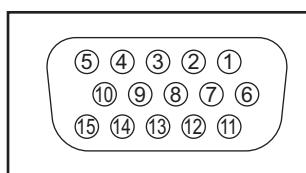
本機能を使用するには「初期設定」-「モニター出力」を「オン」に設定してください。（☞73ページ）

(お知らせ)「オン」に設定すると「画像の調整」メニューの調整値は標準値になります。

出力可能な入力信号または描画映像

入力信号／描画映像	出力信号
HDMI入力信号（HDMI 1、HDMI 2） HDCP（著作権保護）非対応	1,920×1,080@50Hzまたは 1,920×1,080@60Hz
DVI入力信号（DVI-D IN） HDCP（著作権保護）非対応	1,920×1,080@50Hzまたは 1,920×1,080@60Hz
PC入力信号（PC IN） 「コンポーネント入力切換」が「RGB」に設定されているときに対応	1,920×1,080@50Hzまたは 1,920×1,080@60Hz
ホワイトボード画面	1,920×1,080@60Hz
メモリービューワー画面（MEMORY VIEWER）	1,920×1,080@60Hz

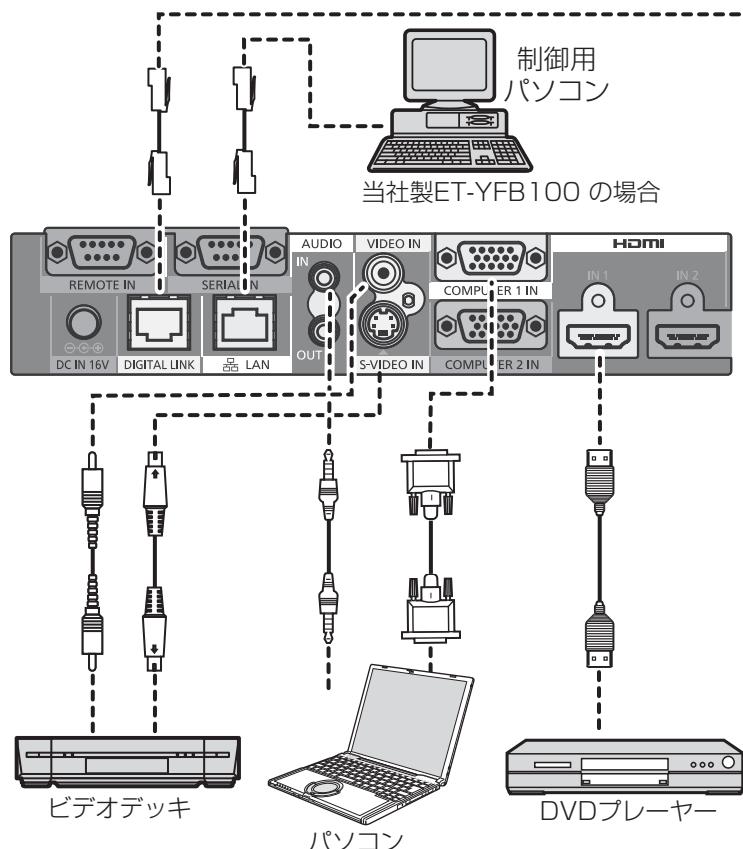
(お知らせ)

- 出力信号の画角は、画面表示されている状態に変換されます。
- 次の入力信号は出力できません。
  コンポーネント入力（COMPONENT/RGB IN）
  コンポジットビデオ入力（VIDEO）
  Miracast映像（Miracast(TM)）
  ワイヤレスマネージャー（Panasonic APPLICATION）

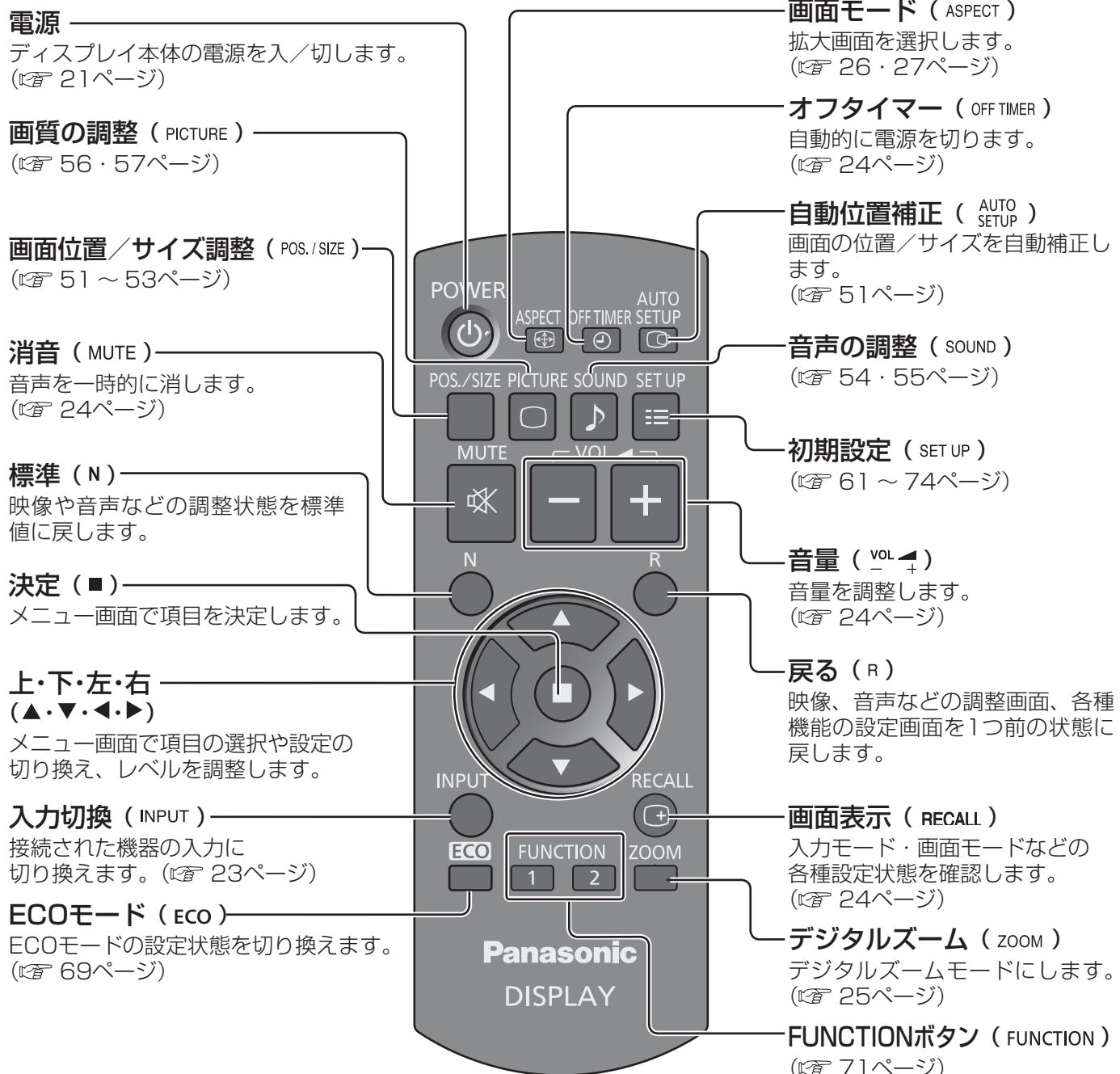
モニターアウト端子（ミニD-sub15ピン）のピン配列と信号名

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G	⑦	GND(アース)	⑫	NC(無接続)
③	B	⑧	GND(アース)	⑬	HD
④	NC(無接続)	⑨	NC(無接続)	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	NC(無接続)

接続

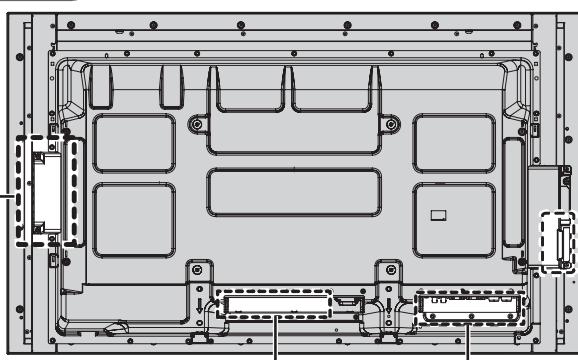
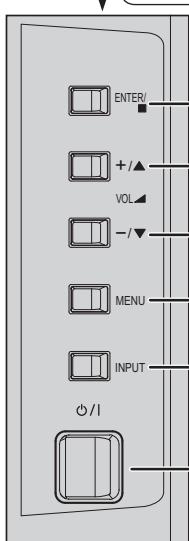
DIGITAL LINK端子の接続例

当社製デジタルインターフェースボックス（ET-YFB100）などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号をDIGITAL LINK端子に入力することができます。

お知らせ　DIGITAL LINK接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。
DIGITAL LINKの設定や接続上の注意事項については取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

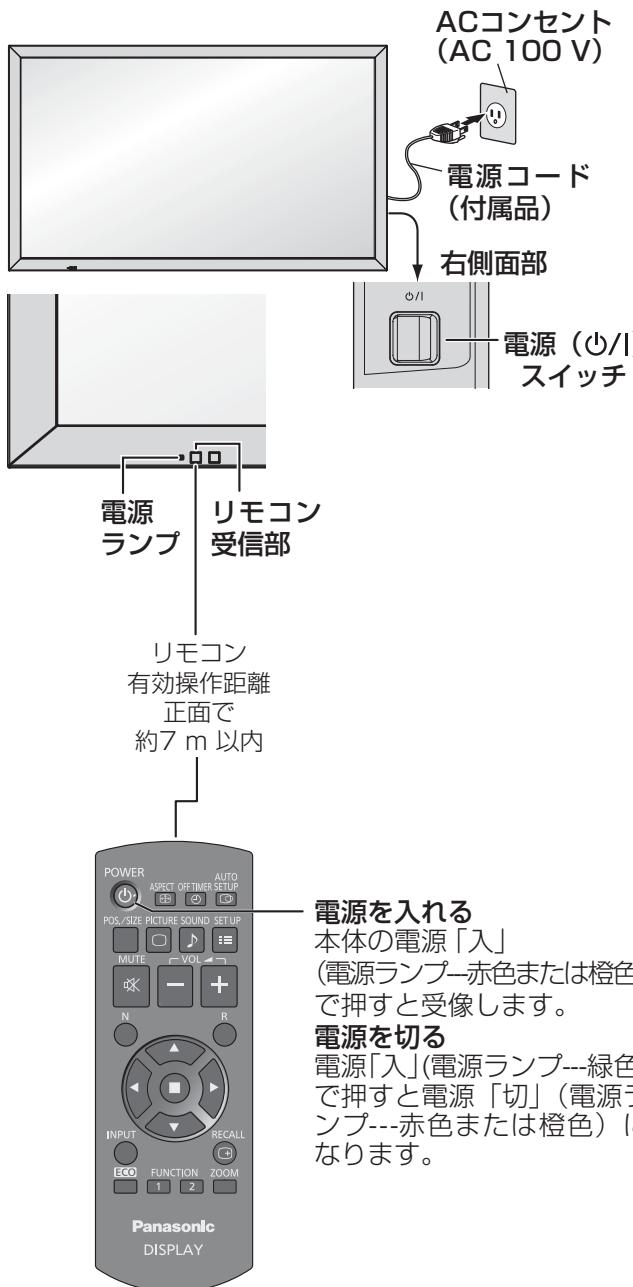
各部の基本説明

リモコン

お願い
- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

各部の基本説明

ディスプレイ本体
前 面
電源ランプ
ディスプレイ本体の電源「入」のとき
●映像表示状態 ……………………………………緑色点灯
●リモコンで「切」(スタンバイ状態) ……………赤色点灯
・Slot powerが「On」で、端子ボードを装着しているとき …橙色点灯
・装着ボードの種類により、スロットに電源供給されるとき (☞80ページ) …橙色点灯
・制御端子選択が「DIGITAL LINK/LAN」のとき …橙色点灯
・クイック起動が「オン」のとき (☞61ページ) …橙色点灯
・無線ネットワーク待機モードが「オン」のとき …橙色点灯
●HDMI1パワーマネージメントまたはHDMI2パワーマネージメントで電源「切」(☞69ページ)……………………橙色点灯
●PCパワーマネージメントで電源「切」(DPMS機能) (☞69ページ) …橙色点灯
●DVI-Dパワーマネージメントで電源「切」(☞69ページ)…橙色点灯
ディスプレイ本体の電源「切」のとき ………………消灯
● 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
● 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。
タッチパネル赤外線透過部
ディスプレイパネルの 4 辺に装着しています。
明るさセンサー
視聴環境の明るさを検知します。(☞69ページ)
リモコン受信部
後 面
USB (VIEWER): USBメモリーを接続します。(☞34ページ)
USB (TOUCH):付属のCD-ROM内の「ホワイトボードソフトウェア」を使用するときに本機とコンピューターをUSBケーブルで接続します。(☞47ページ)
SLOT: 端子ボード(別売オプション)取付用スロット (☞10ページ)
お知らせ
右側のスロットは2スロット幅の端子ボード用です。右側に1スロット幅のボードを取り付けても動作しません。
外部入力端子 (☞12ページ)
映像機器やパソコンなどを接続します。
ENTER/■
+/▲
VOL◢
−/▼
MENU
INPUT
⏻/I
ENTER ／■：メニュー画面で項目を決定します。／画面モードを切り換えます。
VOL ＋−／▲▼：音量を調整します。／メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。
MENU：メニュー画面を表示します。(☞49ページ)
INPUT：接続された機器を選択します。(☞23ページ)
電源 (⏻/I)：電源を「入」・「切」します。

基本の操作

電源を入れる
本体の電源「入」（電源ランプ―赤色または橙色）で押すと受像します。

電源を切る
電源「入」(電源ランプ---緑色)で押すと電源「切」（電源ランプ---赤色または橙色）になります。

準備

電源プラグをコンセントへ接続します。（AC 100 V 50 Hz/60 Hz）

お願い
● 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

電源を入れる

本体の電源（⏻/I）スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。
● 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

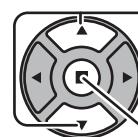
[タッチスクリーン・ネットワークの起動]
電源を入れたとき、タッチスクリーンおよびネットワークの起動に時間がかかります。
その間、「初期設定」メニューの「タッチスクリーン設定」および「ネットワーク設定」はグレー表示になり、設定できません。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

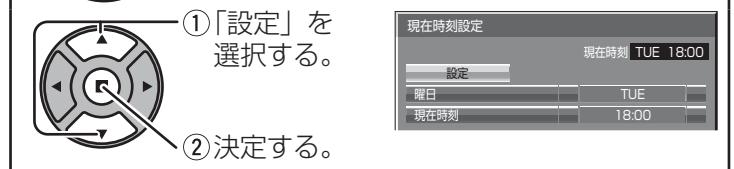
初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。
リモコンで設定してください。本体のボタンやマルチタッチ操作では設定できません。

お知らせ
これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。
必要に応じて、次のメニューで設定してください。
表示言語切換 ☞ 74ページ
現在時刻設定 ☞ 72ページ

表示言語切換

① ご利用の言語を選択し、
② 決定する。

現在時刻設定

①「曜日」または「現在時刻」を選択する。
② 設定する。

①「設定」を選択する。
② 決定する。

電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

WhiteBoard起動画面

WhiteBoard

Now Loading...

入力切換が「WHITEBOARD」で電源を入れると内蔵ホワイトボードが起動します。

タッチスクリーン接続状態の表示

コンピューターとUSB接続していない場合

タッチスクリーンを検出中です。

タッチスクリーンを検出しました。

本メッセージ表示後、ディスプレイ本体のタッチ操作が可能になります。

コンピューターとUSB接続している場合

タッチスクリーンは外部機器に接続されています。

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。(☞ 73ページ)

パワーマネージメントお知らせメッセージ

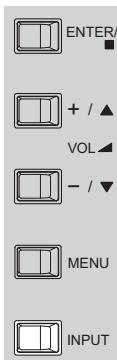
パワーマネージメントが働きました。

「パワーマネージメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。(☞69ページ)

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

「Options」メニュー

Power On Message (No activity power off) (☞ 81ページ)

Power On Message (Power Management) (☞ 81ページ)

入力信号を切り換える

INPUT ◯ または INPUT ▭ を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。

INPUT ◯ を押した後、▲▼ で入力を選んで ■ を押しても設定できます。

本体右側面部

マルチタッチで操作する
☞ 31ページ

※1「SLOT INPUT」はオプションの端子ボードを装着している場合に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は、「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示します。
本機が対応していない端子ボードが装着されている場合は「非対応ファンクションボード」と表示します。

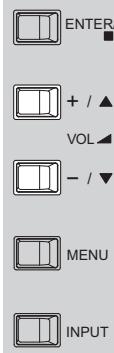
※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 73ページ)

※3 WHITEBOARD入力は「タッチスクリーン設定」の「タッチスクリーン」が「オン」のときに選べます。(☞ 61ページ)

お知らせ

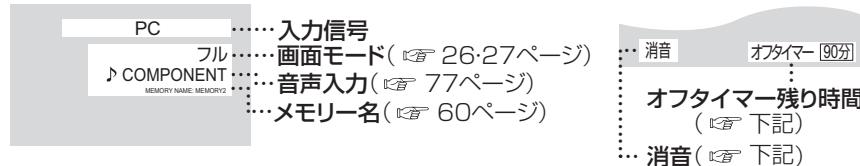
- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。(☞ 70ページ)
- 「Audio input select」で設定した音声が出力されます。(☞ 77ページ)
- 「Input lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(☞ 79ページ)
- コンポーネント（色差）ビデオ、RGBの切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」で設定します。(☞ 73ページ)
- ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。(☞ 64ページ)
- 静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の焼き付き（残像現象）が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。(☞ 67ページ)
- Panasonic APPLICATION入力でワイヤレスマネージャーに接続している時、入力をMiracast(TM)やMEMORY VIEWERに切り換えると接続が切れます。
また、Miracast(TM)入力でMiracastに接続している時、入力をPanasonic APPLICATIONやMEMORY VIEWERに切り替えると接続が切れます。
入力切り換え後、再度接続を確認してください。

基本の操作

本体右側面部

マルチタッチで操作する
☞ 31ページ

入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

RECALL を押すと現在の入力信号と画面モードおよび現在時刻を約5秒間表示した後、オフタイマーと消音が動作中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。

- 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。
- 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock Display」を「On」に設定してください。（☞ 72・81ページ）

音量を調整する

または を押して音量を調整します。

- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- Maximum VOL level（最大音量設定）が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示（数値）は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。（☞ 79ページ）

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの応対のとき便利です。

MUTE を押します。

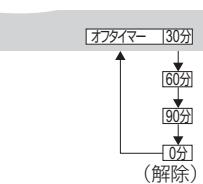
画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。

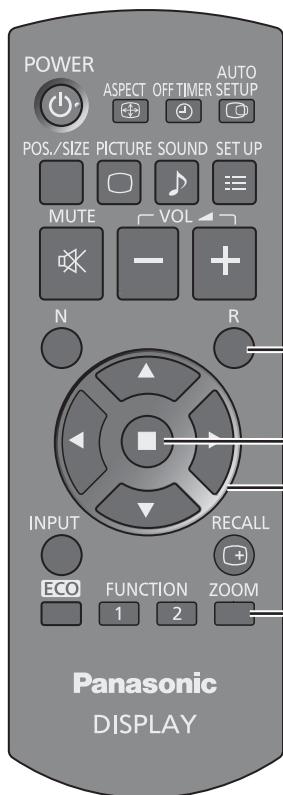
- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

オフタイマー（OFF TIMER）を使う

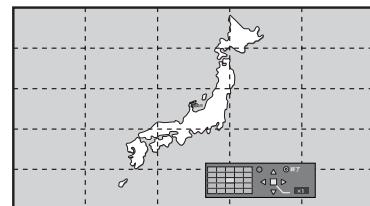
タイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。

OFF TIMER を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅（赤色）表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは RECALL を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。

画面領域を拡大表示する（デジタルズーム）

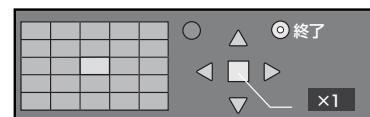
拡大したい画面領域（25領域）を選び、選んだ画像領域を2倍、3倍、4倍に拡大します。
（リモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。）

1 デジタルズームモードにする

ZOOM を押します。

画面のアスペクトは「フル」になり、
デジタルズーム操作ガイドが表示されます。

2 拡大したい画像領域を選ぶ

▲▼◀▶ を押して選びます。

- 画面を拡大しているときでも選べます。
- 以下のボタンを押すと、デジタルズーム モードのまま、押されたボタンの動作を行います。

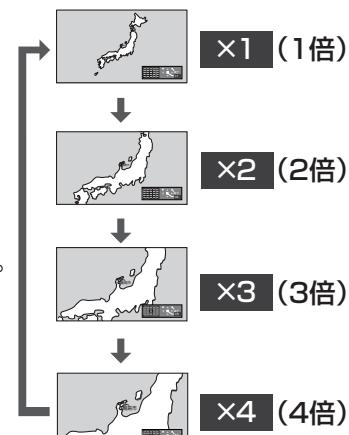
リモコン：
本体右側面：＋/▲ VOL◢ －/▼（音量調整）

デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

■ を押すごとに、切り換わります。

- **画面の拡大率が「×1（1倍）」の場合に、**約60秒間操作をしないと、終了します。
- **画面の拡大率が「×2（2倍）」、「×3（3倍）」、「×4（4倍）」の場合に、**約3秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

▲▼◀▶ のいずれかを押すと、再度表示します。

×1（1倍）→ ×2（2倍）→ ×3（3倍）→ ×4（4倍）

4 デジタルズームモードを終了する

R を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと終了します。その後、押されたボタンの動作を行います。

リモコン：INPUT、ASPECT、POS./SIZE、PICTURE、SOUND、SET UP、RECALL、ECO、FUNCTION 1 2

本体右側面：INPUT、MENU、ENTER/■

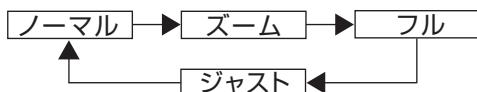
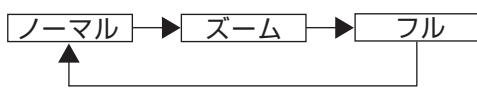
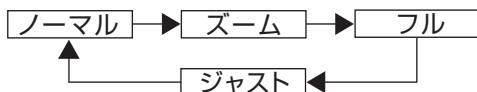
- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
  - ・本体の電源スイッチを「切」にしたとき
  - ・オフタイマーやタイマー設定で電源が「切」になったとき
  - ・無信号自動オフやDPMS機能などで電源が「切」になったときなど

お知らせ
- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
  - ・WHITEBOARD入力時
  - ・2画面表示のとき
  - ・スクリーンセーバー（色反転を除く）起動中のとき
  - ・メモリービューワーのサムネイル画面とファイルリスト画面を表示しているとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

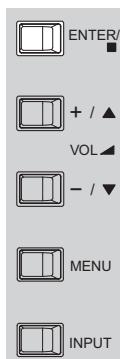
映像に合わせた拡大画面にする（ASPECT）

ASPECT または ENTER/■ を押すごとに切り換わります。

画面モードの詳しい説明については、82ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

- ビデオ（Sビデオ）信号のとき

- パソコン信号のとき

- SD信号（525（480）/ 60i · 60p、625（575）/ 50i · 50p）のとき

- HD信号（1125（1080）/ 60i · 50i · 60p · 50p · 24p · 25p · 30p · 24psF、750（720）/ 60p · 50p、1250（1080）/ 50i）のとき

- 次の入力を選んでいる時は「フル」固定となり、切り換えできません。
  Miracast(TM)、MEMORY VIEWER、WHITEBOARD

本体右側面部

お知らせ

- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。
- 2入力の端子ボード装着時は、各入力（A/B）ごとに記憶します。

■全画面モード（All Aspect）

オプションメニューの「All Aspect」を「On」に設定すると（☞ 81ページ）、より幅広い拡大画面の切り換えができます。全画面モードにすると、拡大画面は次のように切り換わります。
画面モードの詳しい説明については、82ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

● ビデオ（Sビデオ）信号入力時のとき

→ 4:3 → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just ┐（4:3に戻る）

● パソコン信号のとき

→ 4:3 → Zoom → 16:9 ┐（4:3に戻る）

● SD信号（525（480）/ 60i・60p、625（575）/ 50i・50p）のとき

→ 4:3 → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just ┐（4:3に戻る）

● HD信号（1125（1080）/ 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24psF、750（720）/ 60p・50p、1250（1080）/ 50i）のとき

→ 4:3 Full → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just1 → Just2 → 4:3(1) → 4:3(2) ┐（4:3 Fullに戻る）

お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4 : 3の映像をズーム·ジャスト·フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

2 画面で表示する

ビデオ映像とパソコン画像などを2画面で表示します。

お知らせ
- 「Input lock」が「Off」以外に設定されていると2画面にはなりません。
- Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）で受像した2k1k信号は2画面では表示できません。

2画面設定

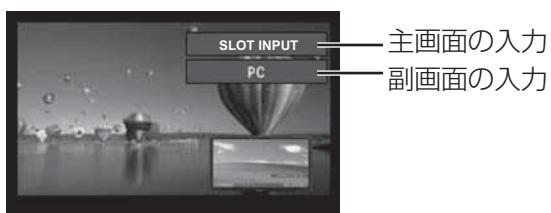
2画面表示の機能やモードは、初期設定（SET UP）の「2画面設定」で設定します。（62ページ）

ディスプレイモード

2画面には次の2つのモードがあります。

映像

2つの入力画像を組み合わせて表示します。

主画面の入力
副画面の入力

次の4系統の入力を組み合わせます。
A Panasonic APPLICATION
B SLOT INPUT
C HDMI1/HDMI2/DVI/DIGITAL LINK/COMPONENT/PC
D VIDEO

お知らせ

HDMI1—DVIなど、同系統の入力の組み合わせで2画面表示はできません。

ホワイトボード

内蔵ホワイトボードに他の入力画像を組み合わせて表示します

主画面はWHITEBOARD固定です。
副画面に表示できる入力: HDMI1/HDMI2/DVI/DIGITAL LINK/COMPONENT/PC/VIDEO/SLOT INPUT

お知らせ SD信号の映像は、副画面にはアスペクト4:3で表示されます。

2画面で表示する

「2画面設定」で「2画面」を「オン」に設定する（☞62ページ）

2画面に切り換わります。

FUNCTIONボタンで操作する

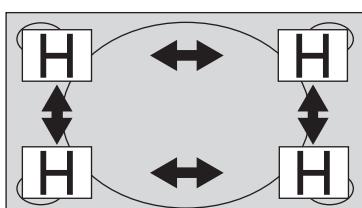
FUNCTION 1 2 → 「2画面」のオン／オフが切り換わります。

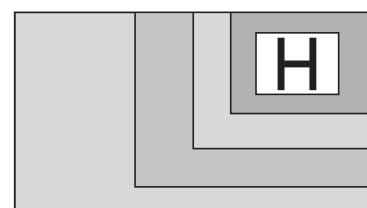
FUNCTION 1 2 → 「2画面設定」メニューを表示します。

お知らせ

FUNCTIONボタンの機能は「ファンクション設定」で設定してください。(☞71ページ)

副画面の位置を切り換える

押して副画面の位置を切り換えます。

副画面の大きさを切り換える

押すごとに副画面の大きさが切り換わります。

お知らせ 「2画面設定」の「副画面サイズ」や「副画面位置」でも同様の切り換えができます。(☞62ページ)

マルチタッチ操作

本機はタッチパネル機能を内蔵しています。指や付属のペンを使用して画面を操作できます。
ここではディスプレイ本体のみでのマルチタッチ操作について説明しています。

お知らせ

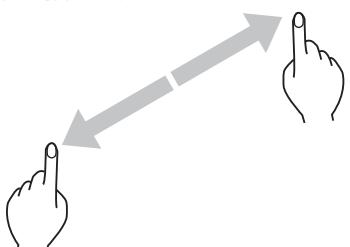
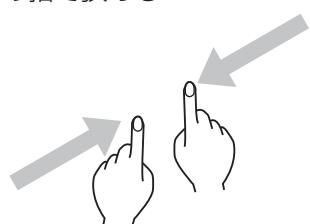
マルチタッチ操作をするには「初期設定」-「タッチスクリーン設定」で「タッチスクリーン」を「オン」に設定してください。(☞ 61 ページ)

タッチ操作の種類

次のタッチ操作が有効です。

名称	動作
タップ（シングルタップ） 軽く 1 回タッチ	■ **コントロールメニュー操作** ・ディスプレイ設定メニューの操作を行います。 ・タッチズームモードを起動します。 ・ホワイトボードを起動します。 ■ **メモリービューワー操作** MEMORY VIEWER 入力で、タッチ操作アイコンを表示／非表示します。 表示されたアイコンをタップして操作する事ができます。 **メモリービューワー** ☞ 33 ページ
ダブルタップ 2 回タッチ	■ **タッチズーム操作** タッチズーム中、約 3 倍の拡大率で拡大します。 また、拡大中は拡大率を100%に戻します。 **タッチズーム** ☞ 32 ページ
スクロール 指を滑らせる	■ **タッチズーム操作** 映像拡大中、画面の表示位置を移動します。 ■ **メモリービューワー操作** ファイルを順送り、逆送りします。 **メモリービューワー** ☞ 33 ページ
画面端からのスワイプ 画面端から、指を滑らせる	■ **コントロールメニュー表示** コントロールメニューを表示します。

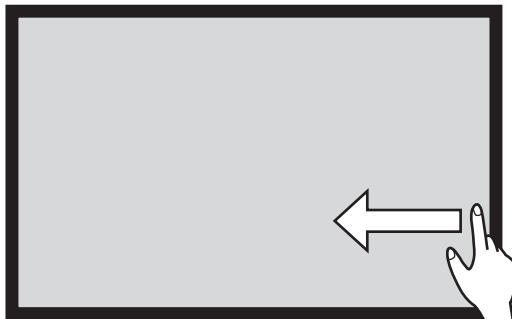
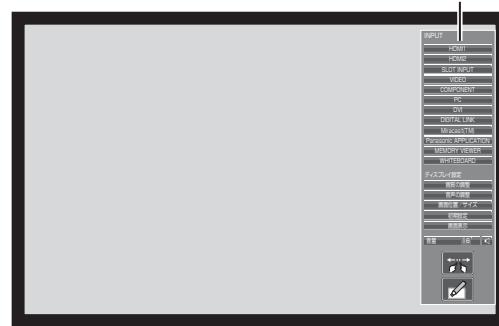
マルチタッチ操作

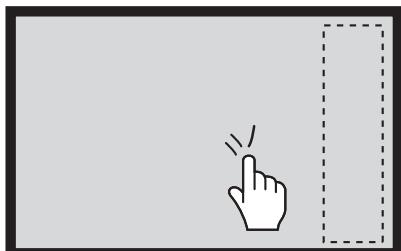
名称	動作
ズームイン 2 本の指で広げる	■ **タッチズーム操作** 画像を拡大します。
ズームアウト 2 本の指で狭める	■ **タッチズーム操作** 画像を縮小します。

マルチタッチ操作でできること

入力の切り換え・音量調節など（☞ 31 ページ）
タッチズーム（☞ 32 ページ）
メモリービューワー操作（☞ 33 ページ）
内蔵ホワイトボードを使用したペン描画（☞ 40 ページ）
ホワイトボードソフトウェアを使用したペン描画（☞ 47 ページ）
ディスプレイ設定メニュー操作（☞ 50 ページ）

マルチタッチ操作時のご注意
マルチタッチ操作やペン描画には、必ず指先か付属のペンをご使用ください。爪やボールペン、鉛筆など、硬いものや先が尖ったもので操作しないでください。誤動作やディスプレイパネルに傷が付くなどの原因になる場合があります。

コントロールメニュー

コントロールニューの表示

画面の端からスワイプします。

画面の右隅からスワイプすると右側にコントロールメニューを表示します。
左隅からスワイプすると左側にコントロールメニューを表示します。

ディスプレイ本体の INPUT または MENU を押してもコントロールメニューを表示できます。

コントロールメニュー以外をタッチするとメニューが消えます。

コントロールメニュー

コントロールメニューから使いたい機能をタップします。

INPUT
HDMI1
HDMI2
SLOT INPUT
VIDEO
COMPONENT
PC
DVI
DIGITAL LINK
Miracast(TM)
Panasonic APPLICATION
MEMORY VIEWER
WHITEBOARD
ディスプレイ設定
画質の調整
音声の調整
画面位置／サイズ
初期設定
画面表示
音量 16

入力の切り換え
タップした入力に切り換わります。
「**入力信号を切り換える**」☞ 23 ページ

2 画面時には主画面で切り換えできる入力を表示します。
2 画面時の操作「**2 画面で表示する**」☞ 28 ページ

ディスプレイ設定メニューの表示
タップしたメニューを表示します。（☞ 50 ページ）

画面表示
入力信号・画面モードなどの設定状態を表示します。（☞ 24 ページ）

音量調節・消音
左右の◁ ▷をタップして音量を上げ下げできます。
をタップすると音声が消え、 の表示になります。音量調節は無効になります。
再度タップすると解除されます。

タッチズーム
タッチズームモードになり、画像の拡大・縮小ができます。（☞ 32 ページ）

ホワイトボード
透過モードまたはホワイトボードモードになります。（☞ 40 ページ）

タッチズーム

タッチ操作で映像の拡大表示ができます。

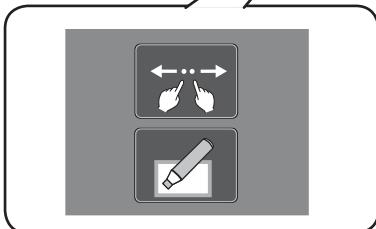
1

画面の端からスワイプしてコントロールメニューを表示します。

コントロールメニューについて ☞ 31 ページ

コントロールメニュー

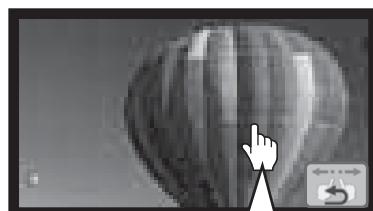
2

をタップします。

タッチズームモードになります。

ズームイン

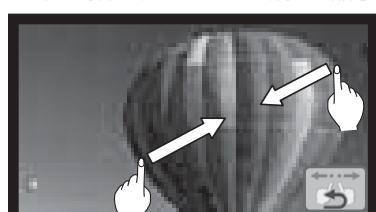
3 拡大したいところをズームインします。

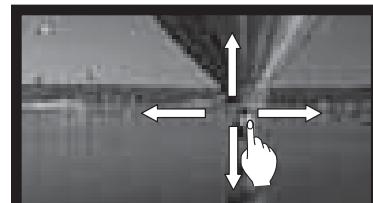
2 本の指で画面に触れたまま広げます。

100%表示のときに画面をダブルタップすると 300%拡大表示になります。

100%～ 400%まで無段階で拡大できます。

拡大表示で画面をダブルタップすると 100%表示に戻ります。

ズームアウト

2 本の指を狭めると画像が縮小されます。

スクロール

拡大表示で画面の表示位置を移動します。

4 をタップしてタッチズームモードを終了します。

お知らせ

■ タッチズームモードの画面モードは「フル」固定です。
■ 下記の場合はタッチズームモードにはなりません。
- 2 画面表示のとき
- スクリーンセーバー（色反転を除く）起動中のとき

■ 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

メモリービューワー機能

メモリービューワーは、ディスプレイ本体へ USB メモリーを挿入することで、USB メモリー内に保存された静止画や動画を表示する機能です。

メモリービューワー機能で再生できる画像

以下の画像を再生できます。

静止画	拡張子	フォーマット
	jpg/jpeg	最大解像度：8000 × 8000
	bmp	最大解像度：8000 × 8000 1、4、8、16、24、32 bit 対応

動画	拡張子	ビデオコーデック	オーディオコーデック	映像フォーマット	音声フォーマット
	mov	H.264/AVC Motion Jpeg	AAC リニア PCM	最大：1920 × 1080/30fps	最大：48kHz 2ch（リニア PCM の場合 は 16kHz ステレオまで）
	avi	H.264/AVC MotionJpeg Mpeg4	mp3 AAC リニア PCM		
	mp4	H.264/AVC Mpeg4	AAC Mpeg4 AAC-LC		
	mpg/mpeg	Mpeg2	Mpeg1 Layer2		
	wmv	WMV9	WMA		

お知らせ

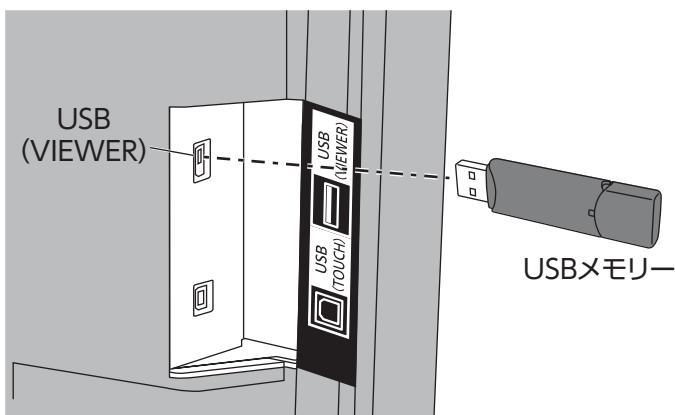
- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- ファイル / フォルダーの最大数：1000 個までです。超えた場合は、エラー表示を行いフォルダー内は表示されません。
- デジタル著作権管理（DRM）で保護 されたファイルは再生できません。
- 動画ファイルのレジューム情報を保持可能ファイル数は、50 個までです。50 個以降のファイルを再生した場合は、古い情報から順番に廃棄されます。
- レジューム機能の精度として、ファイル再生を停止した位置から正確に再生できないことがあります。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。

対応デバイスについて

市販の USB メモリーに対応しています。（セキュリティ機能がついたものは非対応）
FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。

メモリービューワー機能

USB メモリーを挿入する

ディスプレイ側面の USB (VIEWER) 端子に USB メモリーを挿入します。

お願い

- USB メモリーを挿入する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。
- USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。
  - ・挿入した USB メモリーのモニターが点滅しているときは、ディスプレイがデータを読み出していることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。
  - ・USB メモリーがインジケーターなどのモニター機能がない場合は、データの読み出し状況が把握できません。そのため、メモリービューワーを閉じるか、またはディスプレイの電源を切ってから、取り出してください。
  - ・USB メモリーの挿入と取り出しを頻繁に繰り返すことはお止めください。挿入してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り出し、再び挿入する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、挿入してください。ディスプレイが、USB メモリーの挿入と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。

USB メモリーの取扱いと保管に関する注意事項

- USB メモリーを幼い子供の手が届く場所に保管しない。誤って口に入れると窒息するおそれがあります。
- 発煙や異臭を察知した場合は、装置から取り出して、製造元に連絡してください。
- USB メモリーに水、薬品、石油製品などをこぼさない。短絡または火災の原因になります。
- USB 端子部分に異物や金属品を入れない。静電気による保存データの損失または破壊の原因になります。
- USB メモリーがデータを読み出していたり、書き込んでいる間は、コンピューターやディスプレイから無理に取り出さないでください。データの損失または破壊の原因になります。
- 高温多湿、粉塵、磁場を避けて、USB メモリーを保管してください。

お知らせ

- USB メモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れることがあります。データにアクセスしている間は、USB メモリーが点滅します。
- USB メモリーは、ディスプレイの電源が入っているときでも切れているときでも、挿入したり、取り出したりできます。

メモリービューワー画面を表示する

リモコン操作

INPUT ◯ を押して入力を MEMORY VIEWER に切り換えます。

FUNCTION ボタンの機能を「MEMORY VIEWER」に設定するとワンタッチで入力が MEMORY VIEWER に切り換わります。（☞ 71 ページ）

タッチ操作

コントロールメニューで MEMORY VIEWER をタップします。

コントロールメニューについて☞ 31 ページ

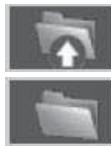
サムネイルまたはファイルリストが表示されます。
サムネイルとファイルリストの表示切り換えは「初期設定」-「メモリービューワー設定」で設定します。
（☞ 63 ページ）

サムネイル画面

フォルダーリスト

リモコン操作ガイド

選択されているファイルの情報を表示します。

サムネイル
フォルダー内のフォルダー、静止画、または動画を表示します。
次のアイコンが表示されます。

 選択すると上位階層へ移動します。

 選択すると下位階層へ移動します。

 静止画ファイルです。

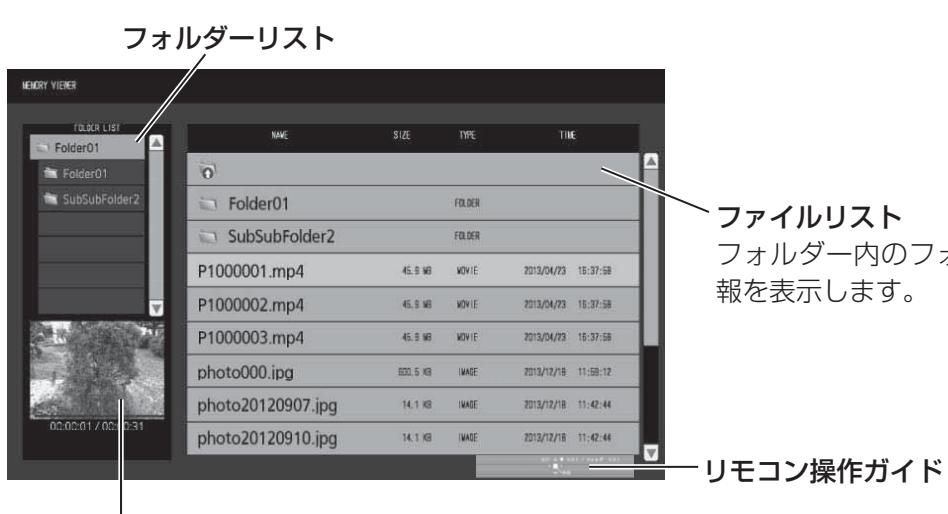
 動画ファイルです。

 対応している拡張子ですが、再生できないファイルです。

ファイルリスト画面

フォルダーリスト

ファイルリスト
フォルダー内のフォルダー、静止画、または動画の情報を表示します。

リモコン操作ガイド

選択されているファイルのプレビューを表示します。

メモリービューワーを終了する

メモリービューワーを終了後、USB メモリーを抜きます。

メモリービューワー機能

静止画を再生する　リモコン操作

ファイルリスト画面でもファイルの選び方は同じです。

1 フォルダーリスト
▲▼ でフォルダーを選択します。

選択したフォルダーが開きます。

2 サムネイル / ファイルリスト
▲▼◀▶ で再生したいファイルを選択します。

(R) を押すとフォルダーリストに戻ります。

3 **(■) を押します。**

全画面に静止画が表示されます。

リモコン操作ガイド
リモコンボタンを押して次の操作ができます。
- ◀　前のファイルへ移動
- ▶　次のファイルへ移動
- ▲　画像の右回転（90°）
- ▼　画像の左回転（90°）
- (■)　自動再生の一時停止／再生再開
- (R)　サムネイル / ファイルリスト画面に戻る

「自動再生」が「オン」のとき

同一フォルダー内のすべての静止画が自動再生されます。

自動再生中に (■) を押すと一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

自動再生中に ◀ を押すと前の画像から、▶ を押すと次の画像から自動再生を続けます。

自動再生間隔や画面切り換わり効果は「初期設定」-「メモリービューワー設定」で設定します。（☞ 63 ページ）

4 **(R) を押します。**

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

動画を再生する　リモコン操作

ファイルの選び方は「静止画を再生する　リモコン操作」と同じです。（☞ 36 ページ）

1 フォルダーリスト
▲▼ でフォルダーを選択します。

選択したフォルダーが開きます。

2 サムネイル／ファイルリスト
▲▼◀▶ で再生したいファイルを選択します。

(R) を押すとフォルダーリストに戻ります。

3 (■) を押します。

全画面に動画が表示されます。

再生中に ◀ を押すと巻き戻し、▶ を押すと早送りを行います。ボタンを押すたびに、早さが 3 段階で変わります。

「自動再生」が「オン」のとき

同一フォルダー内のすべての動画が自動再生されます。
最後のファイルの再生が終わると再び最初のファイルから再生します。

4 (R) を押します。

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

レジューム再生

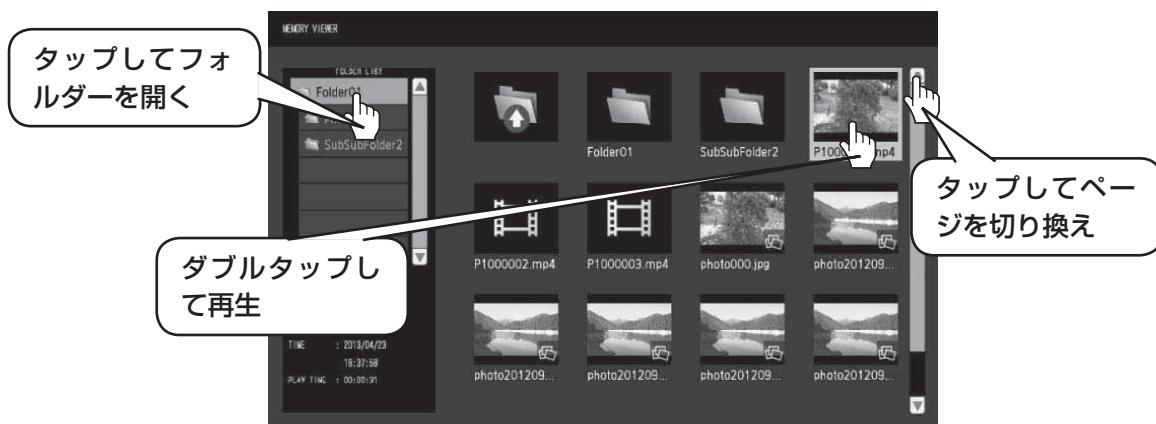
再生途中で停止した動画を次回再生すると、前回停止した位置から再生します。

動画再生中　→　**サムネイル / ファイルリストに戻る**　→　**前回終了した位置から再生**

お知らせ

- レジューム機能は「自動再生」が「オフ」のときに有効です。（☞ 63 ページ）
- レジューム再生位置は本機の電源を切るか USB メモリーを抜くまで保持されます。
また、レジューム再生位置は 50 ファイルまで保持できます。

メモリービューワー機能

静止画を再生する　タッチ操作

ファイルリスト画面でもファイルの選び方は同じです。

1 **フォルダーリストでフォルダーをタップします。**
選択したフォルダーが開きます。

2 **ファイルをタップして選択します。**

3 **ファイルをダブルタップします。**
全画面に静止画が表示されます。

タッチ操作アイコン
タップすると次の操作ができます。

- サムネイル / ファイルリスト画面に戻る
- ペン描画モード
- 自動再生の再開
- 自動再生の一時停止
- 前のファイルへ移動
- 次のファイルへ移動
- 画像の左回転（90°）
- 画像の右回転（90°）

「自動再生」が「オン」のとき
同一フォルダー内のすべての静止画が自動再生されます。
自動再生中に［II］をタップすると一時停止します。［▶］をタップすると再生を再開します。
自動再生間隔や画面切り換わり効果は「初期設定」-「メモリービューワー設定」で設定します。
(☞ 63 ページ)

静止画を再生中は次のタッチ操作ができます。

ファイル移動

タッチズーム（☞ 32 ページ）

4 **［⊞］をタップします。**
サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

動画を再生する　タッチ操作

ファイルの選び方は「静止画を再生する　タッチ操作」と同じです。（☞ 38 ページ）

1 **フォルダーリストでフォルダーをタップします。**

選択したフォルダーが開きます。

2 **ファイルをタップして選択します。**

3 **ファイルをダブルタップします。**

全画面に動画が表示されます。

再生中に [巻き戻し] をタップすると巻き戻し、[早送り] をタップすると早送りを行います。タップするたびに、早さが 3 段階で変わります。

「自動再生」が「オン」のとき

同一フォルダー内のすべての動画が自動再生されます。
最後のファイルの再生が終わると再び最初のファイルから再生します。

動画を再生中は次のタッチ操作ができます。

ファイル移動

タッチズーム（☞ 32 ページ）

4 [サムネイル] **をタップします。**

サムネイルまたはファイルリスト画面に戻ります。

レジューム再生

☞ 37 ページ

内蔵ホワイトボードを使う

内蔵ホワイトボードを使用して、ディスプレイをホワイトボードとして使用したり、映像の上にマーキングするなどのペン描画をします。

内蔵ホワイトボードについて

- **ペン描画をするには、「初期設定」-「タッチスクリーン設定」で「タッチスクリーン」を「オン」に設定してください。(☞ 61 ページ)**
- **ペン描画には指または付属のペンを使用します。**
- **最大 4 人まで同時に描画できます。**
- **マーキングされた映像を、背景の映像とともに内蔵メモリーや USB メモリーに保存したり、メール送信したりできます。**

(お知らせ)

映像、写真等を外部入力して本機をご利用になる場合には、引用等のほかは、ご利用できる映像、写真等は、お客様自身が創作、撮影等している著作権等を有するもの、または権利者からの利用にあたっての許諾を得ているものに限ります。

ペン描画には次の 2 つのモードがあります。

ホワイトボードモードで使う

WHITEBOARD 入力で白地画面上に描画します。

入力を WHITEBOARD に切り換えます。

入力切換が WHITEBOARD で本機の電源を入れるとホワイトボードモードになります。(☞ 22 ページ)

リモコン操作

INPUT を押して入力を WHITEBOARD に切り換えます。

FUNCTION ボタンの機能を「INPUT (WHITEBOARD)」に設定するとワンタッチで入力が WHITEBOARD に切り換わります。(☞ 71 ページ)

タッチ操作

コントロールメニューで WHITEBOARD をタップします。

コントロールメニューについて ☞ 31 ページ

ホワイトボードモードになり、白地画面上にペン描画できます。

メインメニューの表示

(ペンアイコン) をタップするとペン描画用のメインメニューが表示されます。

メインメニューについて ☞ 42 ページ

透過モードからホワイトボードモードに切り換えできます。(☞ 44 ページ)

ホワイトボードの背景色は「初期設定」-「タッチスクリーン設定」で白以外に設定できます。(☞ 61 ページ)
また、メインメニューでも背景を変更できます。

WHITEBOARD 以外の入力では、メインメニューの「モード切り換え」でホワイトボードに切り換えます。
☞ 44 ページ

ペン描画のしかた **☞ 43 ページ**

ペン描画を終了する メインメニューの をタップしてください。

透過モードで使う（動画・静止画の上に描画）

PC や HDMI 入力などの映像を表示している上に描画します。

1 WHITEBOARD 以外の入力で画面の端からスワイプしてコントロールメニューを表示します。

コントロールメニューについて☞ 31 ページ

2 をタップします。

透過モードになり、動画および静止画の上に描画できます。

メインメニューの表示

をタップするとペン描画用のメインメニューが表示されます。

メインメニューについて ☞ 42 ページ

透過モード中に映像入力を切り換えると描画内容は消えます。

ペン描画のしかた ☞ **43 ページ**

背景と描画内容を保存するにはキャプチャー操作を行います。

ペン描画を終了する　メインメニューの をタップしてください。

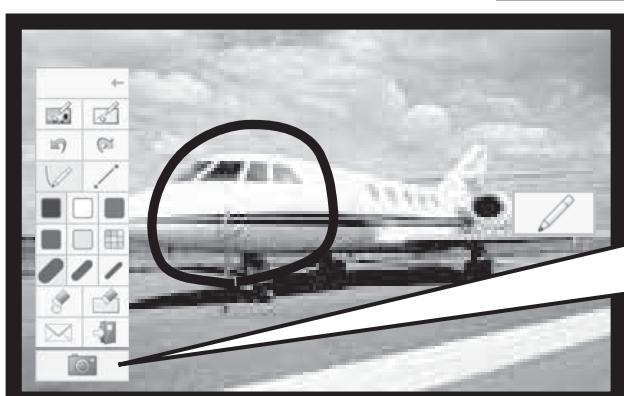
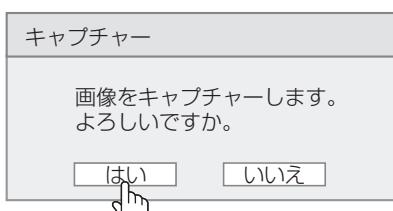
キャプチャー操作を行う（動画・静止画をキャプチャー）

1 透過モード中にメインメニューの をタップします。

2 「はい」をタップします。

キャプチャー

画像をキャプチャーします。
よろしいですか。

はい　いいえ

背景の映像を静止画としてキャプチャーし、その上に描画できます。**ペン描画のしかた** ☞ **43 ページ**

ペン描画を終了する　メインメニューの をタップしてください。

内蔵ホワイトボードを使う

メインメニューについて

メインメニューの機能ボタンをタップして、その機能を選びます。
表示される機能ボタンはモードによって異なります。

メインメニューの表示

画面の右または左の をタップすると、タップした側にメインメニューが表示されます。

メインメニュー

タップするとペンツール
が消えます。

モード切り換え・分割表示
☞ 44 ページ

元に戻す / やり直す
一つ前の操作を取り消したり、
取り消した操作をやり直します。

マーカー
文字や図形などの自由線を描画
します。

直線
直線を描画します。

色
ペンやホワイトボードの背景色を選択
します。

太さ
ペンの太さを選択します。

消しゴム
画面に描画した内容を部分的
に消去します。

全消去
画面に描画した内容をすべて消去しま
す。

メール送信
☞ 46 ページ

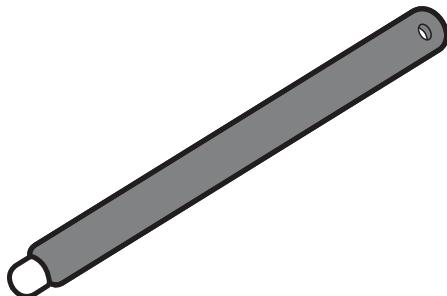
終了
ホワイトボードを終了します。

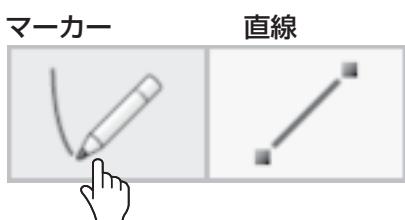
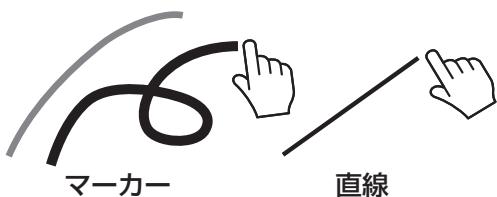
キャプチャー
☞ 41 ページ

ペン描画のしかた

メインメニューから機能を選んで描画します。

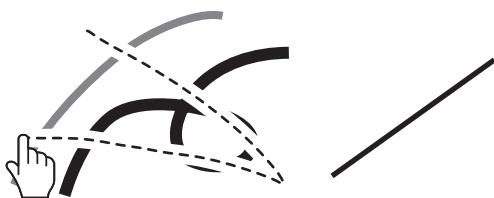
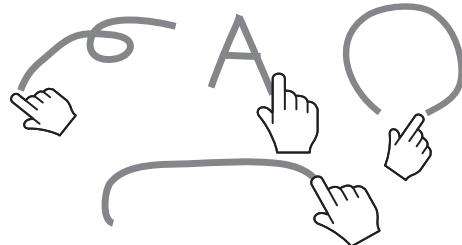
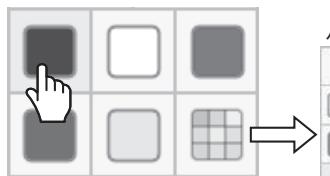
お願い

ペン描画には、必ず指先か付属のペンをご使用ください。爪やボールペン、鉛筆など、硬いものや先が尖ったもので操作しないでください。

ペン（付属品）

1「マーカー」または「直線」をタップします。

2 ディスプレイ上に描画します。

描画を消す

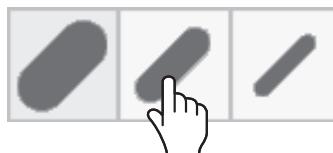
部分的に消す

1「消しゴム」をタップします。

2 指またはペンで、消したい部分をなぞります。

ホワイトボードでは最大４人まで同時に描画できます。ペンの色や太さなど、メインメニューで選んだ機能はすべて共通になります。

ペンの色を変える

その他の色やホワイトボードの背景色を選択できます。

お知らせ

ホワイトボードの背景色を変更すると変更前の内容を保存するかどうかを問い合わせるメッセージが出ます。必要に応じてファイルを保存してください。

ペンの太さを変える

広い範囲で消す

「消しゴム」機能を使わなくても、付属の黒板消しまたは手のひらで描画を消すことができます。

お知らせ

縦 3cm 以上・横 3cm 以上のものであれば消しゴムとして機能します。

全消去

「全消去」をタップします。

画面に描画した内容がすべて消去されます。

内蔵ホワイトボードを使う

モードを切り換える

メインメニューの「モード切り換え」をタップすると描画モードが切り換わります。

モード切り換え

ホワイトボードモードに切り換わります。
入力は WHITEBOARD には切り換わりません。

透過モードに切り換わります。

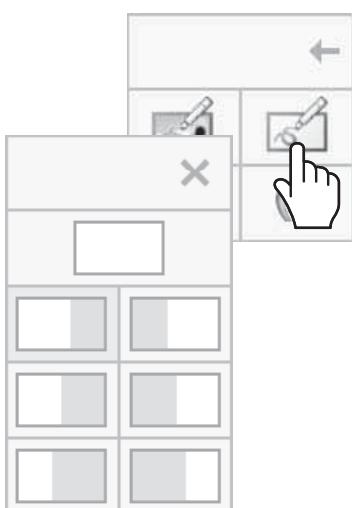
お知らせ

● WHITEBOARD 入力ではホワイトボードモードのみ使用できます。モードの切り換えはできません。
● モードを切り換えると、切り換える前の内容を保存するかどうかを問い合わせるメッセージが出ます。必要に応じてファイルを保存してください。

画面分割表示

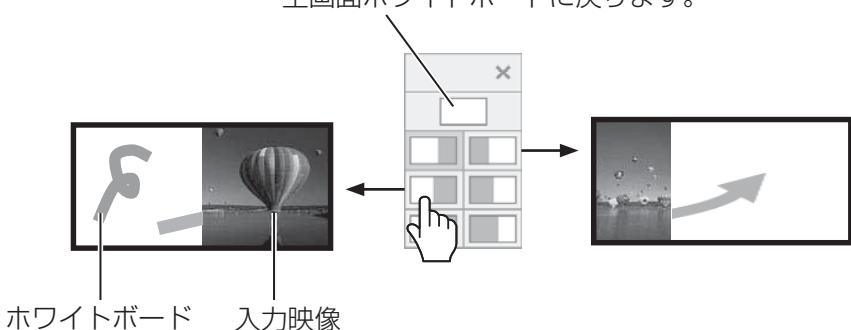
ホワイトボードと入力映像を画面分割表示します。

1 ホワイトボードモードで をタップします。

画面分割メニューが表示されます。

画面分割メニュー

2 分割モードをタップして選びます。

全画面ホワイトボードに戻ります。

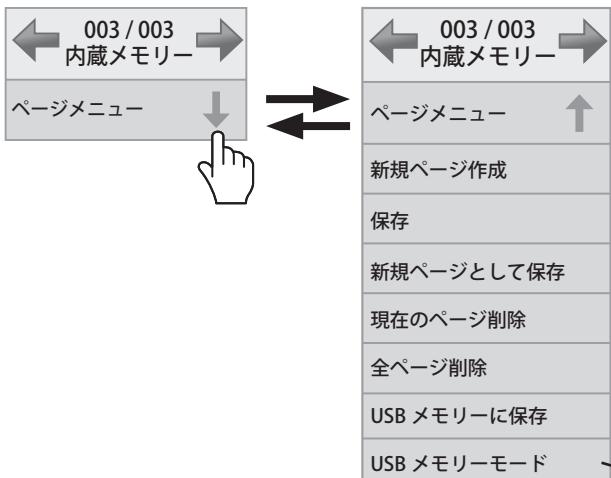
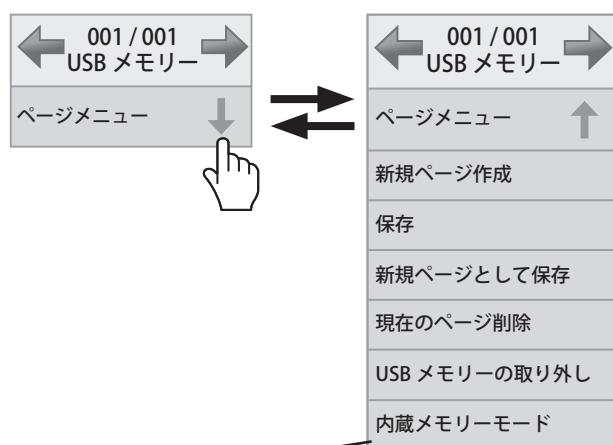
ホワイトボード　入力映像

お知らせ

WHITEBOARD 入力では画面分割表示はできません。

ペン描画を保存する（ページメニュー）

ホワイトボードモードやキャプチャー描画モードではページメニューが表示されます。
描画した内容を背景画像とともに内蔵メモリーや USB メモリーに保存したり、ページとして読み出したりできます。
USB メモリーはディスプレイ側面の USB (VIEWER) 端子に接続して使用します。
USB メモリーについて ☞ 33 ページ

お知らせ

- 内蔵メモリーを使用する場合は、「初期設定」-「タッチスクリーン設定」で「内蔵メモリー設定」を「オン」にしてください。（☞ 61 ページ）
- 機密保持のため、内蔵メモリーをご使用後は、保存されているファイルを削除されることをお勧めします。

メモリーモードが切り換わります。

内蔵メモリー・USB メモリー共通

003 / 003 内蔵メモリー：⇦ ⇨をタップすると 記録メディアに保存されている描画データをページとして順に切り換えて表示します。左側の数字は現在のページ番号、右側の数字は最終ページの番号を表します。

お知らせ

- 保存されている全ページの枚数は表示されません。
- 書き込みが禁止されている、または書き込み用空きスペースの無い記録メディア内の描画データを読み出す場合は「ページメニュー」の下に「読み取り専用」と表示されます。

新規ページ作成：新規のページを作成します。
保存：現在のページを上書き保存します。
新規ページとして保存：現在のページは書き込み前の状態で保持し、書き込み後の画像を新規ページとして保存します。
現在のページ削除：現在表示しているページを削除し、削除後は次のページを表示します。

内蔵メモリーのみ

全ページ削除：内蔵メモリーに保存しているページを全ページ削除します。
USB メモリーに保存：内蔵メモリーに保存しているページを USB メモリーにコピーします。現在表示しているページのみ、または全ページのコピーができます。
ファイルをコピーするとき、内蔵メモリーのファイル削除を問い合わせるメッセージが出ます。必要に応じてコピーしたファイルを削除してください。

USB メモリーのみ

USB メモリーの取り外し：USB メモリーを取り外せる状態にします。USB メモリーを取り外す場合は必ずこの操作を行ってください。

ファイルの保存形式について

ページはファイルで管理されており、USB メモリーに保存されます。
画面合成用フォルダ（/WHITEBOARD/JPEG）以下に、背景映像とペン描画が合成された JPEG 形式のファイルが保存されます。
また、内部処理用フォルダ（/WHITEBOARD/SYS_DATA）以下に、背景画像は JPEG 形式で、描画内容は PNG 形式で画像が保存されます。
ページ番号はファイル名に反映されます。
例：2 ページ目のファイル
　画像合成ファイル：　/WHITEBOARD/JPEG/WB_002.JPG
　内部処理用背景画像ファイル：/WHITEBAORD/SYS_DATA/WB_002BG.JPG
　内部処理用描画画像ファイル：/WHITEBOARD/SYS_DATA/WB_002.PNG
内蔵メモリーを利用している時も、USB メモリーと同様のファイルが内部的に保存されています。

内蔵ホワイトボードを使う

ペン描画をメール送信する

ペン描画を背景画像とともに添付ファイルとしてディスプレイからメール送信できます。

(お知らせ)

透過モードのときはメール送信できません。

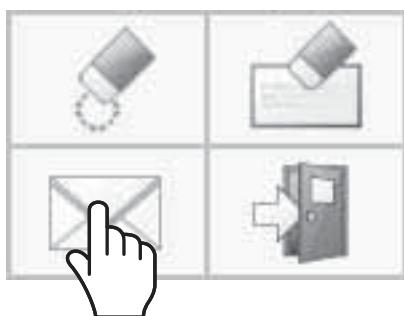
送信先メールアドレスの設定

送信先メールアドレスやメール件名は本機の WEB ブラウザ機能で設定します。
詳しくは取扱説明書「ネットワーク操作編」30 ページをご覧ください。
WEB ブラウザでメールアドレスが設定されていない場合、「メール送信」アイコンはグレー表示となり、ご利用できません。

メール送信について

- メールの本文は空で送信されます。
- 添付ファイル名はメール送信する毎に img00001.jpg から img99999.jpg まで連番で付きます。

メール送信する

1 メインメニューで ［メールアイコン］ をタップします。

2 送信先のメールアドレスにチェックを入れて「確定」をタップする。

メール送信先の選択

(お知らせ)

- アドレスが 21 件以上登録されている場合はスクロールバーが表示されます。
- チェックした送信先はメール送信後にクリアされます。
  メールを送信する毎に設定してください。

3 メール送信先を確認し「確定」をタップする。

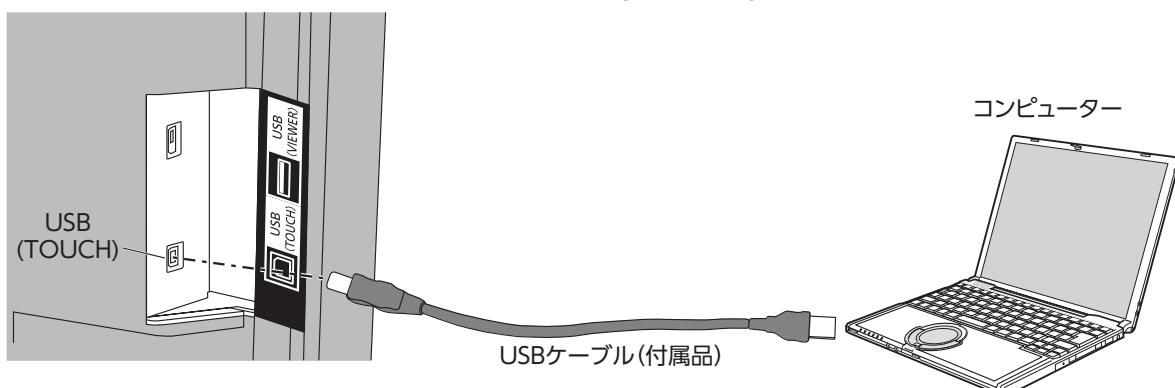
メールが送信されます。

メール送信先の確認

ホワイトボードソフトウェアを使う

付属の CD-ROM 内の「ホワイトボードウェア」を使用して、ペン描画の他にタッチ操作でパソコンのデスクトップを操作するなど、様々な機能をご利用いただけます。

準備

1 コンピューターとディスプレイ側面の USB (TOUCH) 端子を付属の USB ケーブルで接続する。

2 コンピューターとディスプレイの映像入力端子を接続する。

次の入力端子のいずれかに接続してください。
PC IN☞ 15 ページ
HDMI1、HDMI2、DVI-D IN☞ 14 ページ

ディスプレイの設定

下記のディスプレイ設定を行ってください。

- 入力信号をコンピューターの映像入力に切り換えてください。
- コンピューターの画面がディスプレイに正しく表示されるように「画面位置／サイズ」を設定してください。(☞ 51 ページ)

ホワイトボードソフトウェアを起動する

ホワイトボードソフトウェアは､インストールの必要はありません。実行ファイルから直接起動することができます。

1 付属の CD-ROM を CD ドライブに挿入する。

コンピューターのデスクトップがディスプレイに表示され、タッチ操作できます。

2 CD-ROM の「WhiteBoardSoft」フォルダ内にある「WhiteBoard.exe」ファイルをダブルタップする。

(お知らせ)

- ホワイトボードソフトウェアの詳しい操作方法はホワイトボードソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- ホワイトボードソフトウェアを起動する前に、必ずコンピューターの画面解像度を、ホワイトボードソフトウェアがサポートする範囲内に設定してください。

ホワイトボードソフトウェアの終了

メインメニューの ［アプリケーションの終了］をタップしてください。

コンピューターとUSB接続中のタッチ操作

- 次の入力を選んでいる時は、ディスプレイ本体のタッチ機能が有効です。
  Miracast(TM)、MEMORY VIEWER、WHITEBOARD
- コンピューターと USB 接続中の場合、画面端からのスワイプ操作によるコントロールメニューの表示はできません。

ディスプレイ本体の INPUT または MENU を押すとコントロールメニューが表示され、タッチ操作で入力の切り換えやディスプレイ設定メニューの操作ができます。その間はホワイトボードソフトウェアの機能は禁止されます。

タッチ操作が終わってメニュー画面が消えるとホワイトボードソフトウェアの機能は再開されます。

コントロールメニューについて☞31ページ

Miracast(TM) を使う

スマートフォンやタブレット端末に表示されている映像をディスプレイに伝送して表示する機能です。

1 入力を Miracast(TM) に切り換えます。

［Miracast(TM)］画面に切り換わり、待ち受け画面が表示されます。

2 Miracast 対応端末、パソコンから Miracast アプリケーションを起動する

ディスプレイに表示されている機器名と接続してください。
Miracast アプリケーションの名前や起動方法は、端末の機種により異なります。
Miracast アプリケーションの操作については、お使いの端末に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 接続端末認証画面で「OK」を選択する

接続した端末の映像が表示されます。

お知らせ

- 本機能は Miracast 対応 Android 端末および WiDi 対応パソコンに対応しています。
- 「ネットワーク設定」の「無線 LAN」を「オフ」に設定している場合は、Miracast 機能も無効になります。
- ［ディスプレイ名］にスペースを使用した場合、端末の機種によってはスペース以降の文字が表示されないことがあります。
- Miracast 接続でお困りの場合は、87 ページ「Miracast をご使用のとき」をご覧ください。

オンスクリーンメニューについて

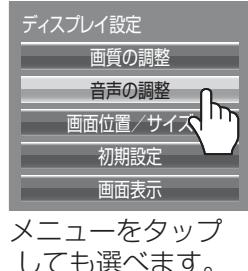
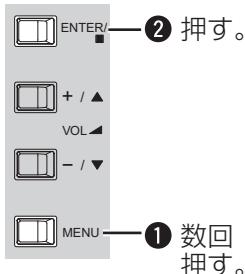
リモコン　　本体

1 メニュー画面を表示する

押して選ぶ

（例：画質の調整メニュー）

❷ 押す。

❶ 数回押す。

メニューをタップしても選べます。

2 設定項目を選択する

（例：画質の調整メニュー）

選ぶ

❷ 押す。

❶ 選ぶ。

3 設定する

設定する

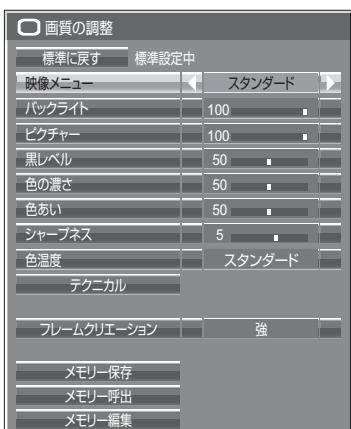
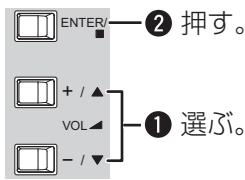
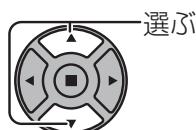
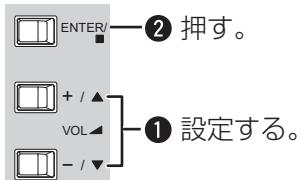
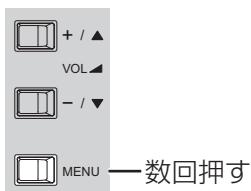
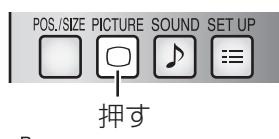
❷ 押す。

❶ 設定する。

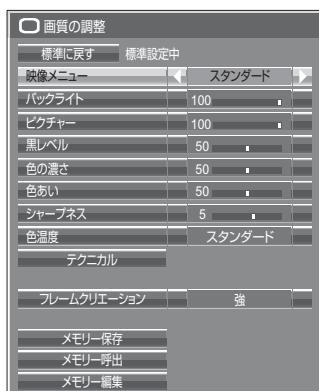
4 設定を終了する

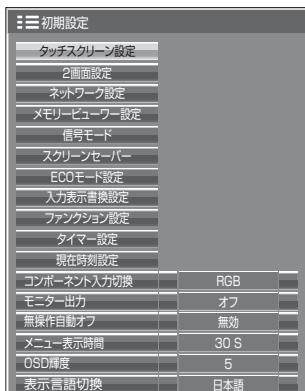
押す

数回押す

(R) を押すと1つ前の画面に戻ります。

メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

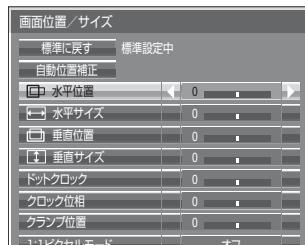
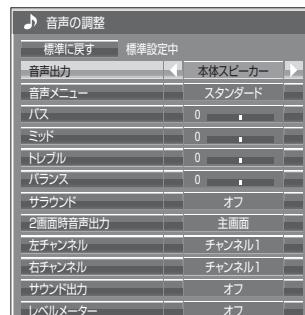
画質の調整

☞ 56～60ページ

初期設定

☞ 61～74ページ

画面位置／サイズ

☞ 51～53ページ

音声の調整

音声の調整	
標準に戻す	標準設定中
音声出力	本体スピーカー
音声メニュー	スタンダード
バス	0
ミッド	0
トレブル	0
バランス	0
サラウンド	オフ
2画面時音声出力	主画面
左チャンネル	チャンネル1
右チャンネル	チャンネル1
サウンド出力	オフ
レベルメーター	オフ

☞ 54・55ページ

オンスクリーンメニューについて

マルチタッチでメニュー操作する

1 画面の端からスワイプしてコントロールメニューを表示する

コントロールメニューについて ☞ 31 ページ

2 設定するメニューをタップする

選択したメニュー画面が表示されます。

3 設定項目をタップする

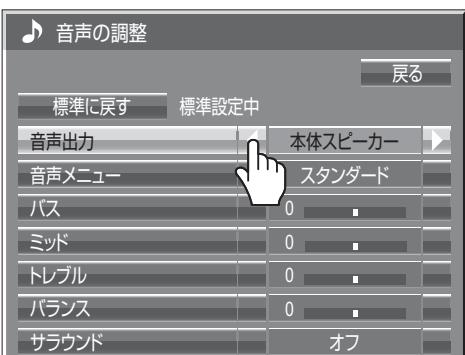
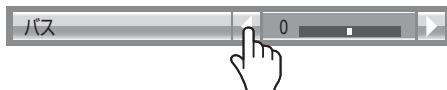
（例：音声の調整メニュー）

「戻る」をタップすると１つ前の画面に戻ります。

お知らせ

リモコンや本体ボタンで操作中には「戻る」ボタンは表示されません。

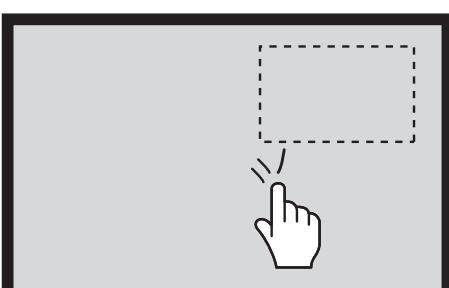
4 設定する

◁ ▷をタップして設定値を切り換えます。

数値を設定する

◁ ▷を長押しすると数値をスキップして上げ下げできます。

文字を入力する

キーボードをタップして文字を入力します。

5 設定を終了する

メニュー画面以外をタッチするとメニューが消えます。

画面位置 / サイズの調整（POS./SIZE）

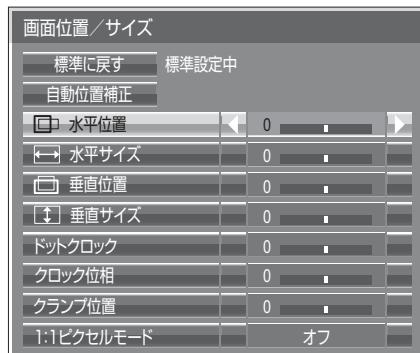
1 POS./SIZE 押して「画面位置／サイズ」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定をする。

4 POS./SIZE 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画面位置／サイズ」メニュー画面

お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。
信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

お知らせ 2画面表示で画面位置／サイズの調整はできません。

自動位置補正

パソコン信号入力時などに「水平／垂直位置」、「水平／垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。
本設定は以下の条件で動作します。
・アナログ信号（コンポーネント/PC）入力時：
　パソコンフォーマットの信号で、初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」（☞ 73ページ）が「RGB」のときに本設定が有効になります。
・デジタル信号（HDMI/DVI）入力時：
　パソコンフォーマットの信号のときに本設定が有効になります。
　パソコンフォーマットの信号でない場合、「オーバースキャン」（☞ 52ページ）が「オフ」または「1:1ピクセルモード」（☞ 53ページ）が「オン」のときに本設定が有効になります。「水平／垂直サイズ」は自動補正しません。

また、次の場合には本設定は無効になり、動作しません
・下記の入力が選ばれているとき
　Miracast(TM)、MEMORY VIEWER、WHITEBOARD、Panasonic APPLICATION
・ビデオ信号のとき
・2画面またはデジタルズーム時
・画面モードが「ジャスト」や「サイドカットジャスト」のとき
・Optionsメニューの「Display size」（☞ 80ページ）を「On」に設定しているとき

対応する信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、■（ ENTER/■ ）を押す。

リモコンで操作する

AUTO SETUP **を押すと自動位置補正が動作します。**

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

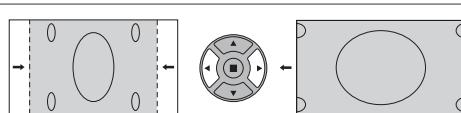
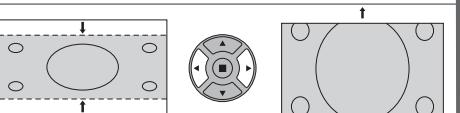
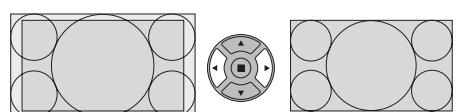
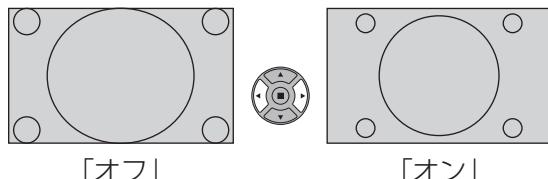
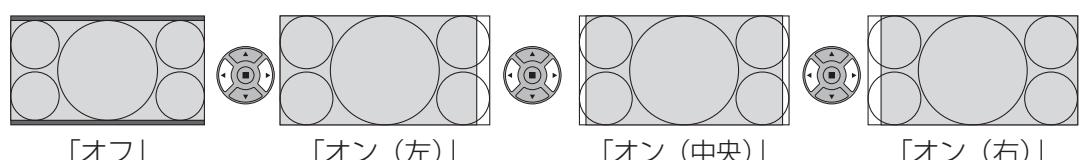
■Autoモード

Optionsメニューの「Auto Setup」を「Auto」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。（☞ 81ページ）
・ディスプレイの電源を「入」にしたとき
・入力信号が切り換わったとき

画面位置 / サイズの調整（POS./SIZE）

お知らせ
- アナログ信号でドットクロック162 MHz以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- デジタル信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置／サイズなどの微調整を行ってください。
- 垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGAモード」（☞65ページ）で 個別信号を選択設定しておくと、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3値同期信号が付加された映像信号などには自動位置補正はうまく動作しません。

お願い
- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、■ を押した後、手動で位置／サイズなどの調整を行ってください。

項目	内容
水平位置	画面を左右に移動します。
垂直位置	画面を上下に移動します。
水平サイズ	画面を左右に拡大／縮小します。
垂直サイズ	画面を上下に拡大／縮小します。
ドット クロック（コンポーネント/PC入力時）	縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。
クロック位相（コンポーネント/PC入力時）	RGB信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっとも見やすくなるよう調整してください。
クランプ位置（コンポーネント/PC入力時）	映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合にクランプ位置を調整します。 **クランプ位置調整の最適値** 黒部分がつぶれている場合 →黒部分のつぶれがもっとも改善する値が最適値です。 黒部分が緑色になっている場合 →緑色部分が黒くなりつぶれていない値が最適値です。
オーバー スキャン	画像のオーバースキャンをオン／オフします。 設定が可能な信号は以下の通りです。 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI） 「オン」　「オフ」 お知らせ ● 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。 ● Optionsメニューの「Display size」が「On」のとき､本設定は無効になります。（☞ 80ページ）

1:1 ピクセルモード	1125i、1125pや1250iのとき、画面サイズを調整します。 「オフ」　「オン」 **対応する入力信号** 1125（1080）/50i、60i、24psF、24p、25p、30p、50p、60p、1250（1080）/50i ● 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。 ●「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズは調整できません。
1:1 ピクセルモード (2k1k) （2k1k信号の場合）	入力信号が2k1k信号（2048×1080/24p、2048×1080/24psF）のとき、 画面サイズは次のように調整されます。 「オフ」　「オン（左）」　「オン（中央）」　「オン（右）」 お知らせ　2k1k信号は、Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）装着時のみ受像可能となります。

お知らせ　調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

音声の調整（SOUND）

1 SOUND ♪ 押して「音声の調整」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 SOUND ♪ 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「音声の調整」メニュー画面

標準に戻す

メニュー表示中にNを押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

■音声出力

音声出力を選びます。

本体スピーカー：内蔵スピーカー
外部出力：外部スピーカー

■音声メニュー

最適な音質を選びます。

スタンダード：送られてくるそのままの音で聞きます。
ダイナミック：メリハリ感を強調した音で聞きます。
クリア：人の声を聞きやすくした音で聞きます。

■バス／ミッド／トレブル／バランス

バス：低音を調節します。
ミッド：中音域を調節します。
トレブル：高音を調節します。
バランス：左右の音量を調節します。

● バス、ミッド、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。

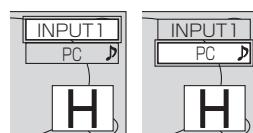
■サラウンド

オフ：通常の音声。
オン：臨場感のある音声。

■2画面時音声出力

2画面のとき聞きたい画面の音声を選びます。

主画面
副画面

● **2画面時音声出力は**
・選んだ出力設定に対して入力信号表示の右側に「♪」が表示されます。

SDI音声出力

本メニューは、下記の端子ボードが装着されているスロットを選択しているときのみ設定できます。
HD-SDI端子ボード（音声対応）（TY-FB10HD）、Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）

左チャンネル	**チャンネル1 ～ 16**	左チャンネルの音声チャンネルを選択します。
右チャンネル	**チャンネル1 ～ 16**	右チャンネルの音声チャンネルを選択します。
サウンド出力	**オフ**：SDI音声を出力しません。 **オン**：SDI音声を出力します。	
レベルメーター	**オフ** **1-8ch** **9-16ch**	ディスプレイに表示する音声レベルメーターの音声チャンネルを設定します。音声レベルメーターは、ディスプレイの左右に4チャンネルずつ、計8チャンネル表示します。「オフ」にすると音声レベルメーターを表示しません。

お知らせ　2画面表示中はSDI音声出力の設定はできません。

画質の調整（PICTURE）

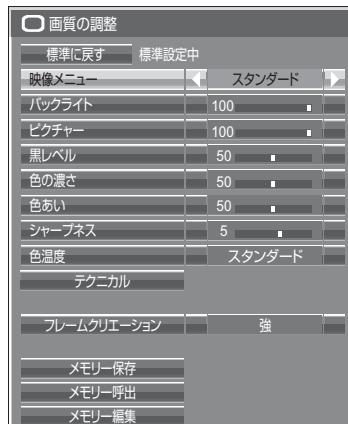
1 PICTURE 押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 PICTURE 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画質の調整」メニュー画面

お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す（「フレームクリエーション」を除く）

標準に戻す　標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

■映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

スタンダード：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。
ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
シネマ　　　：明るさを抑え、階調性を重視した画像になります。

■バックライト

バックライトの明るさを調整します。

■ピクチャー

映像の明暗度を調整します。

お知らせ

- 「映像メニュー」は入力端子ごとに記憶します。2入力の端子ボード装着時は、各入力（A/B）ごとに記憶します。
- 「 バックライト」は、「ECOモード」が「カスタム」で、「消費電力低減設定」が「オフ」のときに調整できます。(☞ 69ページ)

■黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

■色の濃さ

■色あい

肌色部分の色あいを調整します。

赤紫色がかった色に ◀ ▶ 緑色がかった色に

■シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。

■色温度

画面の色調を切り換えます。

低：赤みがかった色になります。（6500K）
中：中間の色温度になります。（9300K）
高：青みがかった色になります。（11500K）

■フレームクリエーション

映像の表示コマ数を2倍にして動きの速いシーンをよりきれいに見せる機能です。

オフ：映像が不自然なときは「オフ」を選んでください。
弱
中
強

（お知らせ）

- 設定は、入力端子ごとに記憶しています。
- 「標準に戻す」を選んでも標準の設定には戻りません。
- オフに変更した場合とオフから他の設定に変更した場合に映像とメニューが一瞬消えます。

テクニカル調整

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。

（お知らせ）

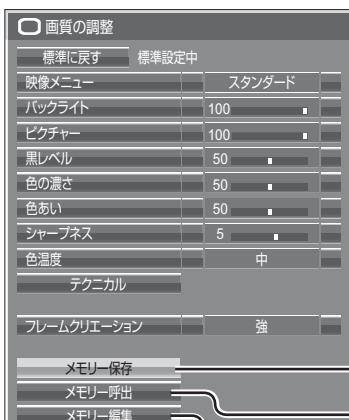
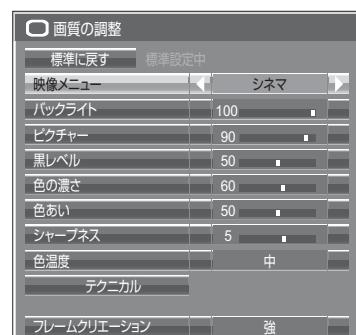
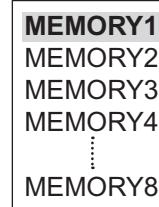
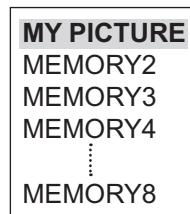
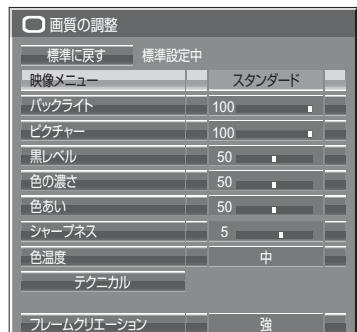
- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。
- 2画面表示中はテクニカル調整はできません。

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

調　整　項　目	調　整　範　囲	調　整　内　容
入力レベル	−32（レベル低）～+32（レベル高）	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	S カーブ　2.0　2.2　2.6	明るさ感を調整します。
Rドライブ	0（色温度高）～100（色温度低）	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	0～100	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	0（色温度低）～100（色温度高）	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	0（色温度高）～100（色温度低）	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	0～100	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	0（色温度低）～100（色温度高）	青色の暗い部分の強弱を調整します。

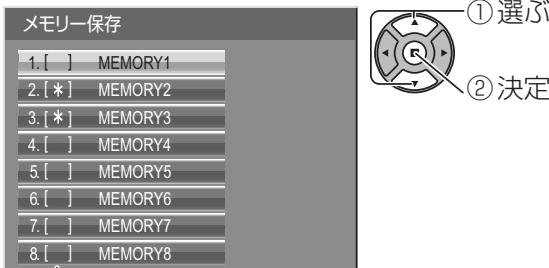
メモリー機能を使う

8通りの映像調整値（「画質の調整」メニューと「テクニカル」）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

メモリーに保存する

映像調整値をメモリーに保存します。

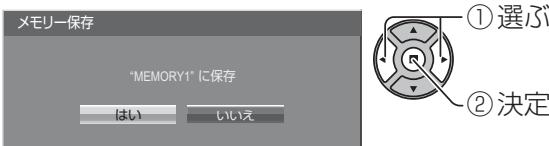
1 「画質の調整」メニューと「テクニカル」で、画質を設定する。(☞ 56・57ページ)

2 「画質の調整」メニューで「メモリー保存」を選ぶ。

3 映像調整値を保存するメモリー名を選ぶ。

すでに映像調整値が保存されているメモリーには「∗」が表示されます。

4 「はい」を選ぶ。

5 メモリー名を入力する。

[メモリー名の入力方法]

メモリー名は最大40文字まで設定できます。

画面上に表示されたキーボードで文字を選んで文字を入力します。

文字入力ボックスには、すでにメモリー名が入力されています。必要に応じてメモリー名を変更してください。

例：「MY PICTURE」に設定する

①「全削除」を選ぶ。

MEMORY1

文字が全て削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

②「M」を選ぶ。

M

この操作を繰り返し、文字を入力します。

③「Y」を選ぶ。

MY

④「空白」を選ぶ。

MY

6 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリー機能を使う

メモリーを呼び出す

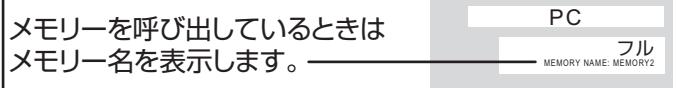
メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

（お知らせ） 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。（☞ 23ページ）

1 「画質の調整」メニューで「メモリー呼出」を選ぶ。

2 呼び出すメモリーを選ぶ。

メモリーを呼び出しているときは
メモリー名を表示します。

PC
フル
MEMORY NAME: MEMORY2

メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。

2 「メモリー削除」を選ぶ。

3 削除するメモリーを選ぶ。

全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

4 「はい」を選ぶ。

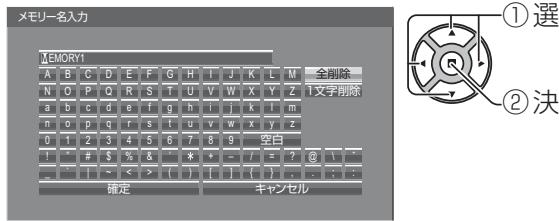
■メモリー名を変更する

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。

2 「メモリー名変更」を選ぶ。

3 名前を変更するメモリーを選ぶ。

4 メモリー名を入力する。

メモリー名の入力方法
☞ 59ページ

5 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。

初期設定 (SET UP)

1 SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 SET UP 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

● **初期設定メニュー画面**

タッチスクリーン設定

マルチタッチ機能と内蔵ホワイトボードについて設定します。

「初期設定」メニューで「タッチスクリーン設定」を選んで を押す。

● **「タッチスクリーン設定」サブメニュー画面**

■ **タッチスクリーン**

マルチタッチ機能を有効にするには「オン」に設定します。
「オン」に設定すると「ホワイトボード設定」が有効になります。

■ **フリックメニューバー**

オン：スワイプ操作によるコントロールメニューの表示が有効になります。

オフ：スワイプ操作によるコントロールメニューの表示が無効になります。
ただしディスプレイ本体のボタン操作でメニュー表示は可能です。(☞ 31ページ)

ホワイトボード設定

■ **クイック起動**

「オン」に設定するとスタンバイ時（リモコンで電源オフ）に内蔵ホワイトボードが待機状態になり、起動が早くなります。

(お知らせ) 下記の場合、本設定は自動的に「オン」になり、変更できません。

- 「Slot power」が「On」で端子ボードを装着しているとき
- 「制御端子選択」が「DIGITAL LINK/LAN」の時
- 「無線ネットワーク待機モード」が「オン」の時

■ **初期背景**

ホワイトボードで新規ページを作成するときの初期背景色を設定します。

■ **自動保存**

ホワイトボードの内蔵メモリーまたはUSBメモリーへの自動保存を設定します。

オン：ホワイトボードで描画中にページ切り換えをしたとき、保存確認のメッセージを表示せずに描画した内容を自動保存します。

オフ：ホワイトボードで描画中にページ切り換えをしたとき、保存確認のメッセージを表示します。

■ **内蔵メモリー設定**

内蔵メモリーの使用について設定します。
「オン」または「オフ」を設定し、「保存」を選んでください。

オン：内蔵メモリーを使用できます。

オフ：内蔵メモリーの使用が無効になります。内蔵メモリーに保存されているファイルは削除されます。

確認画面が表示されます。設定を適用するには「はい」を選んでください。

初期設定（SET UP）

2画面設定

2画面表示機能を設定します。
2画面機能について ☞ **2画面で表示する**（28ページ）

「初期設定」メニューで「2画面設定」を選んで■を押す。

■2画面

「オン」にするとディスプレイが2画面表示になります。「2画面モード」など、各種設定ができます。

■2画面モード

2画面の表示モードを設定します。
映像：2つの入力画像を組み合わせて表示します。
ホワイトボード：内蔵ホワイトボードに他の入力画像を組み合わせて表示します。主画面はWHITEBOARD固定です。

■主画面入力

主画面の入力映像を設定します。

■副画面入力

副画面の入力映像を設定します。

■副画面サイズ

1（小）～**4**（大）：副画面の大きさを設定します。

■副画面位置

副画面の表示位置を設定します。

■主副入換

主画面と副画面を入れ替えます。

(お知らせ)「2画面モード」が「ホワイトボード」のとき、「主副入換」はできません。

ネットワーク設定

コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。
PJLink・ネットワーク関連の詳細は、取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

メモリービューワー設定

メモリービューワー画面の表示方法や自動再生について設定します。
「初期設定」メニューで「メモリービューワー設定」を選んで を押す。

● 「メモリービューワー設定」サブメニュー画面

■ 表示切換
サムネイル表示とリスト表示を切り換えます。

■ ファイル表示ソート
ファイル名／日時／種類：サムネイルまたはリストのファイルをソートする順番を設定します。

■ 自動再生
静止画または動画を自動再生する場合は「オン」に設定します。

■ 自動再生間隔
5 S ～ 120 S：静止画を自動再生する間隔を設定します。

■ 画面切り換わり効果
自動再生で画面が切り換わるときの効果を設定します。

■ ガイド表示
リモコン操作ガイド表示のオン／オフを設定します。

初期設定（SET UP）

信号モード

「初期設定」メニューで「信号モード」を選んで を押す。

● 「信号モード」サブメニュー画面

ビデオ(Sビデオ)入力時

コンポーネント(色差)
ビデオ信号入力時

デジタル信号入力時

RGB / パソコン信号入力時

お知らせ ●入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。
●「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。

■3次元 Y/C (NTSC)

本メニューは、デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD）が装着されている場合に表示されます。
ビデオまたはSビデオ信号入力時、動いている映像が不自然に見えるときに設定します。
通常は「オン」でご覧ください。

お知らせ NTSC方式の映像を映しているときに有効です。

■カラーシステム

ビデオまたはSビデオ信号入力時、信号方式が合わず正常な映像にならない場合に方式選択します。

- 通常は「オート」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。
- 入力信号が劣化してノイズが多い、または信号レベルが低いときに「オート」に設定すると正常に表示されない場合があります。そのときは入力信号の方式に合わせて設定してください。

信号方式	水平走査周波数（kHz）	垂直走査周波数（Hz）	色副搬送波（MHz）
NTSC	15.73	59.94	3.58
PAL	15.63	50.00	4.43
PAL60※	15.73	59.94	4.43
SECAM	15.63	50.00	4.25 または 4.41
M.NTSC	15.73	59.94	4.43

※PAL60の映像をご覧になるときは「オート」または「PAL」を選択してください。

■ デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。
※ 通常は「オフ」に設定してください。

お知らせ
- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
- 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。
- ビデオ(Sビデオ)入力時、NTSCおよびPAL信号に効果があります。
- コンポーネント（色差）ビデオ入力時、525i（480i)、1125（1080）/60i、625i（575i）信号に効果があります。

■XGAモード

本メニューは、アナログ信号（コンポーネント/PC）入力時に表示されます。
本機は、画角/サンプリングが異なる3種類の垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）に対応しています。

オート：1024×768/1280×768/1366×768の中から自動選択します。画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ　本設定を行った後は、必要に応じて「画面位置／サイズ」メニューの各調整（「自動位置補正」など）を行ってください。(☞ 51ページ)

■ ノイズリダクション

以下の3種類のNR（ノイズリダクション）機能をまとめて設定します。
NR、モスキートNR、ブロックNR

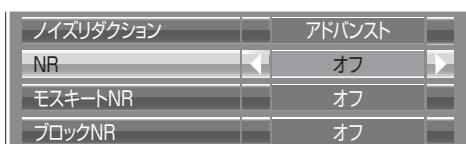
オフ　：ノイズリダクションが無効になります。
弱　：ノイズリダクションの強弱を設定します。
中
強
アドバンスト：下記のアドバンスト調整ができます。アドバンスト調整が映像に反映されます。

お知らせ　パソコン信号入力のときは「ノイズリダクション」がグレー表示になり設定できません。

アドバンスト調整

3つのNR機能を個別に設定します。

「アドバンストNR」サブメニュー画面

ノイズリダクション	アドバンスト
NR	◀ オフ ▶
モスキートNR	オフ
ブロックNR	オフ

……オフ、弱、中、強の中から選びます。

NR　：映像のざらつき感を少なくします。
モスキートNR：MPEG映像の文字部分の周辺に現れるモスキートノイズを軽減します。
ブロックNR：MPEG映像の動画部分に現れるブロックノイズを軽減します。

初期設定（SET UP）

■同期

本機能はPC IN入力時に動作します。

●RGB / パソコン信号入力時

オート：HD/VD入力/SYNC ON Gが自動で切り換わります。
HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。
ON G：HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期が入る場合で、SYNC ON Gで同期を取りたい場合に選択します。

●コンポーネント（色差）ビデオ信号入力時

オート：HD/VD入力/SYNC ON Yが自動で切り換わります。
HD/VD入力/SYNC ON Y両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。
ON Y：HD/VD入力/SYNC ON Y両方に同期が入る場合で、SYNC ON Yで同期を取りたい場合に選択します。

お知らせ　COMPONENT/RGB IN端子に入力の信号はSYNC ON GまたはSYNC ON Yに対応しています。

■SDIスルー

本メニューはDual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）を装着したスロットを選択しているときのみ設定できます。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）のアクティブスルー機能を設定します。

オフ：アクティブスルーが無効になります。
オン：アクティブスルーが有効になります。

■HDMIレンジ

HDMI端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

ビデオ(16-325)：入力信号がビデオレンジの場合。 例：DVDプレーヤーのHDMI端子出力
フル(0-255)：入力信号がフルレンジの場合。 例：パソコンのHDMI端子出力
オート：入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ(16-235)」または「フル(0-255)」に切り換えます。

お知らせ
- 本機能は、HDMI信号入力のみに設定できます。
- DIGITAL LINK入力時は「オート」を選択できません。

■入力信号表示（コンポーネント、RGB/パソコン、デジタル信号入力時）

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

……表示範囲：水平走査周波数（15 kHz ～ 110 kHz）
垂直走査周波数（48 Hz ～ 120 Hz）

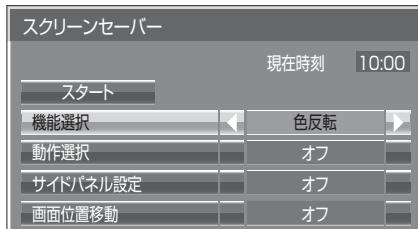
DVI信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
ドットクロック周波数	108.0 MHz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

スクリーンセーバー

静止画や4：3 表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。

「初期設定」メニューで「スクリーンセーバー」を選んで ■ を押す。

●「スクリーンセーバー」サブメニュー画面

スクリーンセーバーの設定

■スクリーンセーバーの動作を設定する

「機能選択」で動作したい機能を選択します。

色反転　：白黒反転した映像にして、画面の残像を軽減します。
白色バー：白色バーが一定間隔で画面の左から右側へスクロール表示します。映像はディスプレイに映りません。
オーバーレイ白色バー：映像を暗くして、その上に白色バーがスクロール表示します。
全白表示：ディスプレイ全面に全白パターンを表示します。

お知らせ　2画面表示で「オーバーレイ白色バー」は動作しません。

■今すぐスクリーンセーバーをスタートする

①「動作選択」で「オン」を選ぶ。
②「スタート」を選んで ■ を押す。
　スクリーンセーバーが開始します。

お知らせ　●スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

リモコン：R　本体：MENU 、INPUT 、+ / ▲ 、− / ▼ 、ENTER/■

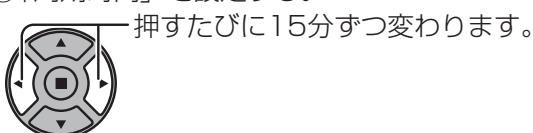
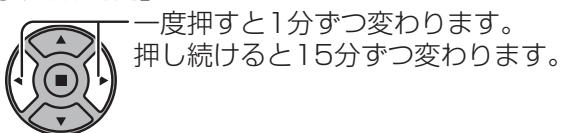
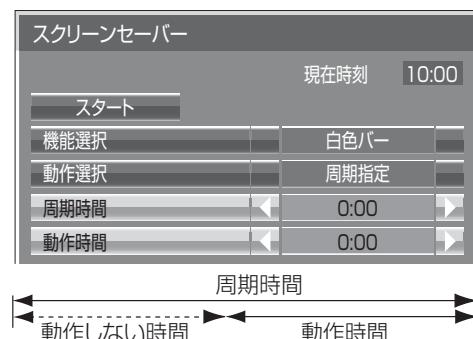
●ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

■一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

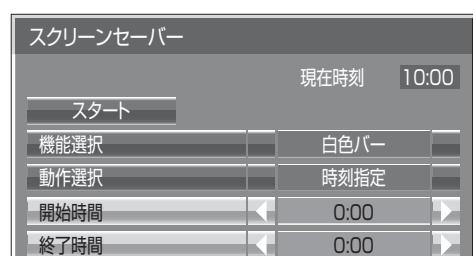
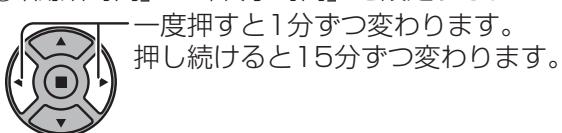
①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。
②「周期時間」を設定する。

押すたびに15分ずつ変わります。

③「動作時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

お知らせ　動作時間は周期時間より長い時間には設定できません。

■指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

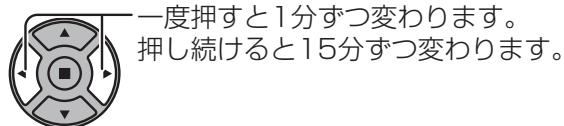
①「動作選択」で「時刻指定」を選択する。
②「開始時間」と「終了時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

お知らせ　現在時刻を設定してから、開始時間と終了時間を設定してください。（☞ 72ページ）

初期設定（SET UP）

■スクリーンセーバーの後に電源を切る

①「動作選択」で「自動電源オフ」を選択する。
②「動作時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

③「スタート」を選んで ■ を押す。
スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。

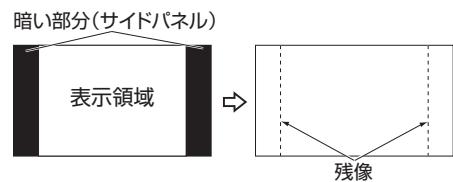
お知らせ 「動作時間」は0:00 ～ 23:59まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

サイドパネル設定

画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。サイドパネルを表示することで残像発生を軽減できます。

暗い部分（サイドパネル）
表示領域
残像

オフ：両端を暗くしておく。
低：暗めの灰色にする。
中：灰色にする。
高：明るめの灰色にする。

お知らせ 残像発生の軽減のため「高」にしてご覧になることをおすすめします。

画面位置移動

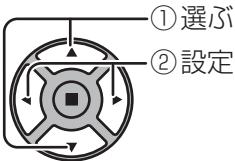
ディスプレイパネルの焼き付き軽減のため、一定の時間間隔で画面位置を移動させて表示します。

お知らせ 画面の設定状態により、画面の一部で欠けて見える場合があります。

ECOモード設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。
「初期設定」メニューで「ECOモード設定」を選んで ■ を押す。

●「 ECOモード設定」サブメニュー画面

■ECOモード

カスタム：消費電力低減のメニューを個別に設定します。
オン　　：消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。
消費電力低減設定：オン
HDMI1パワーマネージメント：オン
HDMI2パワーマネージメント：オン
PCパワーマネージメント：オン
DVI-Dパワーマネージメント：オン
無信号自動オフ：有効

リモコンで操作する
ECO
［ ］を押すと「ECOモード」が切り換わります。

■カスタム設定

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「ECOモード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

消費電力低減設定

バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。
オフ　　：本機能は動作しません。
オン　　：バックライトの明るさを下げます。
センサー：視聴環境に応じてバックライトの明るさを自動調節します。

(お知らせ)「オン」または「センサー」に設定した場合、「画質の調整」-「バックライト」の設定は無効になります。

HDMI1パワーマネージメント
HDMI2パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。
HDMI1またはHDMI2入力時に約60秒間、映像（同期信号）が検知されないとき
➡電源「切」（スタンバイ）　電源ランプ：橙色点灯
その後、映像（同期信号）が検知されると
➡電源「入」　電源ランプ：緑色点灯

PCパワーマネージメント（DPMS機能）

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。
PC IN入力時に約60秒間、映像（HD/VD同期信号）が検知されないとき
➡電源「切」（スタンバイ）　電源ランプ：橙色点灯
その後、映像（HD/VD同期信号）が検知されると
➡電源「入」　電源ランプ：緑色点灯

(お知らせ)「信号モード」の「同期」が「オート」､「コンポーネント入力切換」が「RGB」のときのみ動作します。（☞ 66、73ページ）

DVI-Dパワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。
Standard mode
DVI入力時に約60秒間、映像（同期信号）が検知されないとき
➡電源「切」（スタンバイ）　電源ランプ：橙色点灯
その後、映像（同期信号）が検知されると
➡電源「入」　電源ランプ：緑色点灯
Low power mode
DVI入力時に約60秒間、DVI-D IN端子の+5V電源または映像（同期信号）が検知されないとき
➡電源「切」（スタンバイ）　電源ランプ：橙色点灯
その後、+5V電源および映像（同期信号）が検知されると
➡電源「入」　電源ランプ：緑色点灯
Standard modeの場合はLow power modeの場合よりもスリープ電力が高くなります。
Standard mode/Low power modeの切り換えはOptionsメニューの「DVI Power management mode」で設定します。（☞ 81ページ）

(お知らせ)
- 本機能はDVI-D端子ボード（TY-FB11DD）には対応しておりません。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

無信号自動オフ

「有効」にすると、約10分間入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

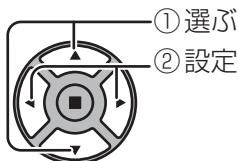
(お知らせ)
- WHITEBOARD入力では、ページ読み出しやペン描画等が行われるまでは無信号と判断します。
- MEMORY VIEWER入力では、USBメモリーが接続されていない場合に無信号と判断します。

初期設定（SET UP）

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

「初期設定」メニューで「入力表示書換設定」を選んで ■ を押す。

映像入力を選び、信号名を設定する。

映像入力	表示名
[HDMI1]	HDMI1 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[HDMI2]	HDMI2 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[SLOT INPUT]※1	SLOT INPUT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[VIDEO]	VIDEO / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[COMPONENT]※2	COMPONENT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[PC]	PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DVI]	DVI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DIGITAL LINK]	DIGITAL LINK / (スキップ)
[Miracast(TM)]	Miracast(TM) / (スキップ)
[Panasonic APPLICATION]	Panasonic APPLICATION / (スキップ)
[MEMORY VIEWER]	MEMORY VIEWER / (スキップ)
[WHITEBOARD]	WHITEBOARD / (スキップ)

(スキップ)：INPUT ◯ を押したときに入力を飛び越して表示します。

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。
(☞ 73ページ)

2 入力の端子ボードを装着した場合

「SLOT INPUT」は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示され、個別に設定できます。

[SLOT INPUT A]	SLOT INPUT A / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[SLOT INPUT B]	SLOT INPUT B / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

固定表示の端子ボードを装着した場合（チューナーボードなど）

「SLOT INPUT」の入力ラベルは固定表示と(スキップ)のみ設定できます。

[SLOT INPUT]　固定表示 / (スキップ)

ファンクション設定

FUNCTION 1 2 を押したときに動作する機能を設定します。

「初期設定」メニューで「ファンクション設定」を選んで ■ を押す。

● 「ファンクション設定」サブメニュー画面

お知らせ 工場出荷時は次のように機能が設定されています。
FUNCTION1ボタン：INPUT (WHITEBOARD)
FUNCTION2ボタン：INPUT (MEMORY VIEWER)

■ ファンクション1、ファンクション2

FUNCTIONボタンに次の機能を設定します。

ECOモード設定 / 信号モード / タイマー設定 / 2画面設定

メニュー画面を表示します。（例：ECOモード設定）

FUNCTIONボタンを押すとメニューが消えます。

白色バー

スクリーンセーバー（白色バー）が動作し、15分後にディスプレイはスタンバイモードになります。

解除するには R を押します。

INPUT (SLOT)※～ INPUT (WHITEBOARD)

FUNCTION 1 2 を押して入力をワンタッチで選択できます。

※「INPUT (SLOT)」は、端子ボード装着時に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は「INPUT (SLOT A)」および「INPUT (SLOT B)」と表示されます。

ネットワーク設定

「ネットワーク設定」メニューを表示します。

マルチライブ

「ワイヤレスマネージャー」を使用時、マルチライブモードに切り換えます。

☞ ネットワーク関連の機能は、取扱説明書「ネットワーク操作編」およびお使いの「ワイヤレスマネージャー」の取扱説明書をご確認ください。

AVミュート

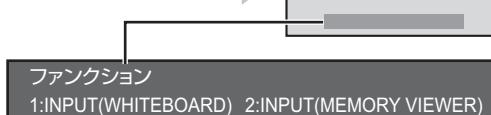
音声や映像をミュートします。
解除するにはリモコンの何れかのボタンを押します。

2画面

FUNCTION 1 2 を押して2画面機能のオン/オフを切り換えます。

■ ファンクションガイド

FUNCTIONボタンの機能表示を設定します。

オン: FUNCTIONボタンを押すとボタンの機能一覧を表示します。
オフ: 機能一覧は表示しません。

初期設定（SET UP）

タイマー設定

自動的に電源を「入」または「切」にする設定を行います。

● 「タイマー設定」サブメニュー画面

「初期設定」メニューで
「タイマー設定」を選んで
を押す。

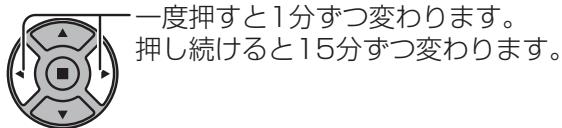
タイマー設定

	現在時刻 10:00
電源オン機能設定	オフ
電源オン時刻	0:00
電源オフ機能設定	オフ
電源オフ時刻	0:00

■指定した時刻に電源を「入」または「切」にする

①「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を選ぶ。
②「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を設定する。
一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

タイマー設定

	現在時刻 10:00
電源オン機能設定	オフ
電源オン時刻	0:00
電源オフ機能設定	オフ
電源オフ時刻	0:00

③「電源オン機能設定」または「電源オフ機能設定」を選ぶ。
④「オン」に設定する。

タイマー設定

	現在時刻 10:00
電源オン機能設定	オフ
電源オン時刻	0:00
電源オフ機能設定	オフ
電源オフ時刻	0:00

お知らせ　現在時刻を設定してから、タイマー設定をしてください。（☞ 下記）

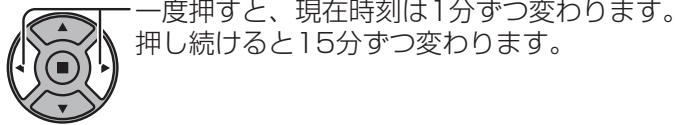
現在時刻設定

曜日と現在時刻を設定します。（「99：99」と表示されている場合は、未設定となっています。）

● 「現在時刻設定」サブメニュー画面

「初期設定」メニューで
「現在時刻設定」を選んで
を押す。

■曜日と現在時刻を設定する

①「曜日」または「現在時刻」を選ぶ。
②「曜日」または「現在時刻」を設定する。
一度押すと、現在時刻は1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

③「設定」を選んで ■ を押す。

お知らせ
- 現在時刻を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 曜日および現在時刻の設定は、下記の場合にリセットされます。
  ・本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約7日間放置したとき。
- 現在時刻を「99：99」以外に設定しないと、曜日と現在時刻の設定はできません。

コンポーネント入力切換

コンポーネント／ RGB入力（COMPONENT/RGB IN）端子または、PC IN 端子に接続された信号に合わせて設定します。

色差ビデオ：Y, P_B, P_R/Y, C_B, C_R信号
RGB　　：RGB信号

(お知らせ) 入力端子（COMPONENT/RGB IN、PC IN）ごとに設定してください。

YUV ／ RGB切換

本メニューは、DVI信号入力時に表示されます。DVI入力信号の方式に合わせて設定します。

YUV ：YUV信号
RGB ：RGB信号

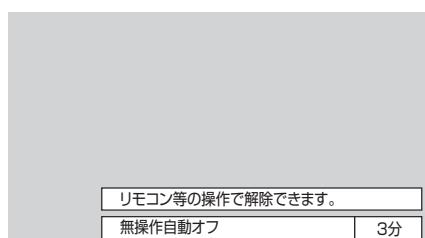
(お知らせ)
- 入力端子（SLOT、DVI-D IN）ごとに設定してください。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

モニター出力

PC OUT端子からのモニター出力を設定します。

オフ：モニター出力が無効になります。
オン：モニター出力が有効になります。
「オン」に設定すると次の「画質の調整」メニュー調整値が標準値に固定となります。
黒レベル：50
色の濃さ：50
色合い：50
シャープネス：0
テクニカル　ガンマ：2.2

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約4時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。
電源が切れる3分前から、切れるまでの残り時間を表示します。

本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

(お知らせ) スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。

初期設定（SET UP）

メニュー表示時間・OSD輝度

オンスクリーンメニューの表示時間と輝度レベルを設定します。

メニュー表示時間：5 S ～ 30 S
OSD輝度：1 ～ 5

表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。
選択できる言語

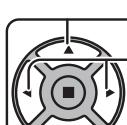
English(UK) ： 英語（イギリス）
Deutsch ： ドイツ語
Francais ： フランス語
Italiano ： イタリア語
Espanol ： スペイン語
Francais ： フランス語
ENGLISH(US) ： 英語（アメリカ）
中文 ： 中国語
日本語 ： 日本語
Русский ： ロシア語

オプション（Options）メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

1 SET UP ──押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2 ①押して「表示言語切換」を選択する。
②3秒以上押す

3 ①押して「Options」を選択する。
②押して「Options」メニューを表示する。

4 ①押して設定項目を選択する。
②押して設定する。

「Weekly Command Timer」、「Audio input select」、「Input Search」または「RS-232C/LAN Information Timing」を選び、■ を押すと設定画面になります。
(☞ 76 ～ 78・80ページ)

5 SET UP ──押して設定を終了する。

● Optionsメニュー画面

お知らせ
- 「オプション（Options)」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体の操作ボタンやマルチタッチ操作ではできません。
- R を押すと1つ前の画面に戻ります。
- オプションメニューの言語は英語表示のみです。
- 手順3で「Display Serial Number」を選択すると本機のシリアル番号を表示します。

Weekly Command Timer（ウィークリーコマンドタイマー）

曜日ごとにプログラム設定（時刻、コマンド）されたタイマー制御ができます。

● 曜日と現在時刻を設定してから、ウィークリーコマンドタイマーを設定してください。（☞ 72ページ）

■ウィークリーコマンドタイマーの使用と各曜日ごとのプログラムを選択します。

▲▼で「Program Edit」を選び、■を押す。

1 ウィークリーコマンドタイマーを使うとき

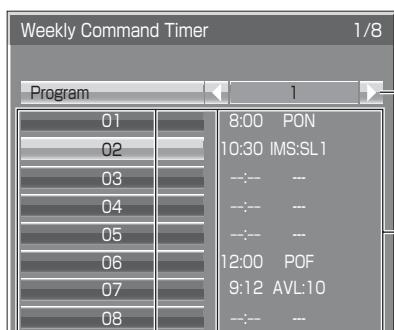
▲▼で「Function」を選び、◀▶で「On」に設定する。

2 各曜日ごとにプログラムを選択する

▲▼で曜日を選び、◀▶でプログラム番号を選ぶ。
プログラム番号はProgram1 ～ 7まで設定できます。---は未設定です。

お知らせ 「Function」を「On」に設定すると、タイマー設定（☞ 72ページ）およびスクリーンセーバー（☞ 67ページ）の「周期指定」「時刻指定」は無効になります。

■プログラム番号ごとのプログラム内容を表示します。

1プログラム64コマンド番号までの設定ができます。

1 表示させたいプログラム番号を選択する

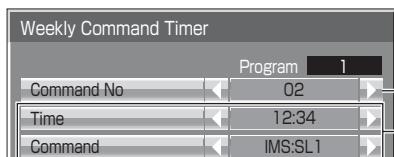
▲▼で「Program」を選び、◀▶でプログラム番号（1 ～ 7）を切り換える。

コマンド番号ごとの設定内容
--:--、---は時刻、コマンドが未設定です。

2 確認したいコマンド番号を選択する

①▲▼でコマンド番号を選ぶ。◀▶でページ切り換えができます。
②コマンドの設定をするときは■を押す。

■コマンド番号ごとにタイマー時刻とコマンドの設定をします。

お知らせ R を押すと1つ前の画面に戻ります。

1 設定したいコマンド番号を選択する

①▲▼で「Command No」を選ぶ。
②◀▶でコマンド番号を選ぶ。

2 タイマー時刻、コマンドを設定する

①▲▼で「Time」または「Command」を選ぶ。
②◀▶で設定する。

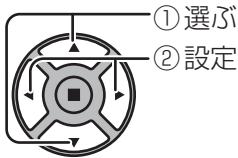
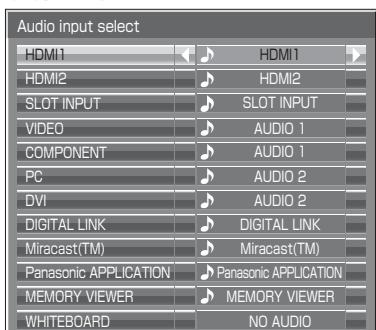
Time：◀▶を1度押すと1分ごとに変化します。押し続けると15分ごとに変化します。

Command：本機には、あらかじめ設定された64種類の内蔵コマンドがあります（☞ 83ページ）。「Time」で設定した時刻に実行するコマンドを選んでください。

お知らせ
- コマンド番号に関係なく、設定した時刻順にコマンドを実行します。
- 同じ時刻に複数のコマンドを設定した場合は、コマンド番号順に実行します。
- N を押すと「Time」は--:--、「Command」は---になります。

Audio input select（音声入力選択）

映像入力を選んだときの音声を設定します。

映像入力を選び、音声入力を設定する。

映像入力	音声入力
[HDMI1]	HDMI1 / SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[HDMI2]	HDMI2 / SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[SLOT INPUT]※1 [VIDEO] [COMPONENT]※2 [PC] [DVI]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[DIGITAL LINK]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / DIGITAL LINK / NO AUDIO
[Miracast(TM)]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Miracast(TM) / NO AUDIO
[Panasonic APPLICATION]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Panasonic APPLICATION / NO AUDIO
[MEMORY VIEWER]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / MEMORY VIEWER / NO AUDIO
[WHITEBOARD]	SLOT INPUT / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO

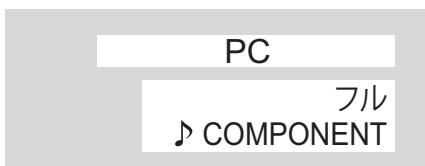
NO AUDIO：音声入力なし（ミュート）

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（☞ 73ページ）

2 入力の端子ボードを装着した場合

「SLOT INPUT」は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示され、個別に設定できます。
他の映像入力を設定する場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」を選べます。

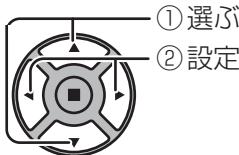
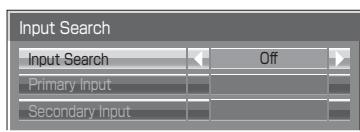
映像入力	音声入力
[HDMI1]	HDMI1 / SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[HDMI2]	HDMI2 / SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[SLOT INPUT A]	SLOT INPUT A / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[SLOT INPUT B]	SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[VIDEO] [COMPONENT] [PC] [DVI]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO
[DIGITAL LINK]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / DIGITAL LINK / NO AUDIO
[Miracast(TM)]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Miracast(TM) / NO AUDIO
[Panasonic APPLICATION]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / Panasonic APPLICATION / NO AUDIO
[MEMORY VIEWER]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / MEMORY VIEWER / NO AUDIO
[WHITEBOARD]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / AUDIO 1 / AUDIO 2 / NO AUDIO

映像入力と音声入力が異なる場合は、下のように音声入力が表示されます。

お知らせ
- HDMI音声は、HDMI入力のときのみ選べます。
- SLOT INPUT A 入力にBの音声、またはSLOT INPUT B 入力にAの音声は設定できません。

オプション（Options）メニュー

Input Search（無信号時自動入力切換）

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り換えます。

①選ぶ
②設定

Input Search

設定値 **Off**：無信号時、入力の自動切り換えをしません。
All Inputs：全入力をサーチして、信号のある入力に切り換えます。
下記の順で入力をサーチします。
例：現在の入力がPCの場合
→PC→ DVI →・・・・・・・・・ → COMPONENT

Priority：「Primary Input」と「Secondary Input」を順にサーチして、信号のある入力に切り換えます。

入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。

Primary Input、Secondary Input

「Priority」のときにサーチする入力を設定します。

設定値 **(NONE)、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT※、VIDEO、COMPONENT、PC、DVI、DIGITAL LINK、Panasonic APPLICATION**

※「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
　2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

お知らせ
- 「Input lock」が「Off 」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。（☞ 79ページ）
- 本機能で入力が切り換わった場合、次回電源「入」時はその入力になります。
  電源「入」時に元の入力にするには「Initial input」を元の入力に設定してください。

Onscreen display（オンスクリーン表示）

電源オン表示、入力切換表示、無信号表示、メニュー画面表示後の消音表示、RECALL を押した後の消音とオフタイマー残り時間表示、オフタイマー 3分前の残時間表示を行わなくすることができます。

設定値 **On**：表示にします。
Off：非表示にします。

Initial input（スタート入力設定）

電源「入」時の入力を設定します。

設定値 **Off、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT※1、VIDEO、COMPONENT※2、PC、DVI、DIGITAL LINK、Miracast(TM)、Panasonic APPLICATION、MEMORY VIEWER、WHITEBOARD**

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。
※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（☞ 73ページ）

お知らせ

「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。（☞ 79ページ）

Initial VOL level（スタート音量設定）

電源「入」時の音量を設定します。

設定値 **Off**：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

（メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します）

■音量の設定

VOL − + を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。（☞ 79ページ）

Maximum VOL level（最大音量設定）

音量を設定以上に大きくならないようにします。

設定値 Off：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

（メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します）

■音量の設定

を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

Input lock（入力切換固定）

入力を固定して「入力切換」操作をできなくします。

設定値 Off、HDMI1、HDMI2、SLOT INPUT※1、VIDEO、COMPONENT※2、PC、DVI、DIGITAL LINK、Miracast(TM)、Panasonic APPLICATION、MEMORY VIEWER、WHITEBOARD

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（☞ 73ページ）

お知らせ

- 「Off」以外に設定すると、すぐに入力切換操作ができなくなります。また、2画面にはできません。
- 2画面時は「Off」以外に設定すると1画面で設定した入力に固定します。

Button lock（ボタン操作制限）

本体のボタン操作を制限します。

設定値 Off：ボタン操作を制限しません。

MENU & ENTER：MENU と ENTER 操作はできません。

On：すべてのボタン操作はできません。

Button lockは、次の手順で本体のボタンを操作して設定できます。

Off：－/▼ を4回押す→ INPUT を4回押す→ －/▼ を4回押す→ ENTER を押す

MENU & ENTER：

ENTER を4回押す→ ＋/▲ を4回押す→ INPUT を4回押す→ ENTER を押す

On：－/▼ を4回押す→ ENTER を4回押す→ ＋/▲ を4回押す→ ENTER を押す

Remocon User level（リモコン操作制限）

リモコンのボタン操作を制限します。

設定値 Off：ボタン操作を制限しません。

User1：電源、INPUT、RECALL、MUTE、VOL －＋ 以外のボタン操作はできません。

User2：電源 以外のボタン操作はできません。

User3：すべてのボタン操作はできません。

Off-timer function（オフタイマー機能）

オフタイマー機能を有効/無効の設定をします。

設定値 Enable：オフタイマー機能を有効にします。
Disable：オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Initial Power Mode（電源復帰モード）

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

設定値 Normal：電源が切れる前の状態で復帰します。
Standby：電源「スタンバイ」の状態で復帰します（電源ランプ：赤色/橙色点灯）。
On：電源「入」の状態で復帰します（電源ランプ：緑色点灯）。

お知らせ

本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「Standby」に設定されることをおすすめします。

ID select（ID番号選択）

「Serial ID」でディスプレイ本体（パネル）の制御を行うときのID番号（パネル番号）を設定します。

設定値 ID select：設定値：0 ～ 100。（標準値：0）

Serial ID（シリアルID）

SERIAL（シリアル）端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイのID番号（パネルID）により制御する設定をします。

設定値 Off：IDによる外部制御を無効にします。
On：IDによる外部制御を有効にします。

オプション（Options）メニュー

Display size（画面表示領域設定）

画面の映像表示領域の設定をします。

設定値 **Off**：通常の映像表示領域にします。
On：映像表示領域を通常の約95%にして映像端が確認できます。

「Off」のとき全域表示　　「On」のとき画角の95%領域表示

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
  NTSC、PAL、SECAM、M.NTSC、PAL60、PAL-M、PAL-N（ビデオ）
  525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p、1125/60i、1125/50i、1125/24psF、1125/25p、1125/24p、1125/60p、1125/50p、1125/30p、1250/50i（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI）
  （DVI、SDI、HDMIの対応信号は各ボードの説明書を参照ください。）
- 2画面表示やデジタルズームでは、この設定は有効になりません。
- 「On」に設定して画面表示中は画面位置／サイズの調整は水平位置、垂直位置のみできます。

Studio W/B（スタジオW/B）

スタジオW/Bの設定をします。

設定値 **Off**：設定が無効になります。
On：テレビスタジオ用の色温度にします。

お知らせ

「画質の調整」の「色温度」が「低」のときに有効になります。

Studio Gain（スタジオゲイン）

画像の明るい部分が白くつぶれて見える場合（白つぶれ）に、コントラストを高めて見やすい映像にします。

設定値 **Off**：スタジオゲイン機能を無効にします。
On：スタジオゲイン機能を有効にします。（白つぶれを解消します）

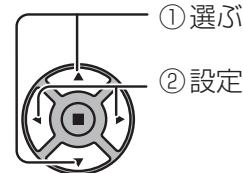
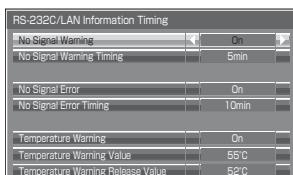
- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
  コンポーネント（色差）ビデオ、RGB（アナログ）、SDI、HDMI

LAN Control Protocol（LAN制御プロトコル）

LAN制御のプロトコルを選択します。

設定値 **Protocol 1**：Panasonicディスプレイのシーケンスで制御します。
Protocol 2：Panasonicプロジェクターと互換性のあるシーケンスで制御します。

RS-232C/LAN Information Timing（情報通知タイミング）

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。
RS-232C制御時：警告・エラー情報を本機から自動で発信します。
LAN制御時：警告・エラー情報を本機から取得できます。

No Signal Warning
「On」に設定すると無信号警告を通知します。
No Signal Warning Timing
無信号警告の検出時間を設定します。

No Signal Error
「On」に設定すると無信号エラーを通知します。
No Signal Error Timing
無信号エラーの検出時間を設定します。

次の5つの機能の何れかが働いて無信号を検出した場合は、「No Signal Warning」と「No Signal Error」による警告・エラーは通知されません。
無信号自動オフ、PCパワーマネージメント、DVI-Dパワーマネージメント、HDMI1パワーマネージメント、HDMI2パワーマネージメント（☞ 69ページ）

設定例
No Signal Warning Timing：5分
No Signal Error Timing：10分
PCパワーマネージメント：オン（30秒）
PC IN入力時に無信号を検出すると「PCパワーマネージメント」が先に働いてスタンバイになります。

お知らせ

「No Signal Error Timing」は「No Signal Warning Timing」より短く設定できません。

Temperature Warning
「On」に設定すると本機の温度警告を通知します。

Temperature Warning Value
温度警告を検出する温度を設定します。

Temperature Warning Release Value
温度警告を解除する温度を設定します。

Slot power（スロット電源）

スロット電源への電源供給の設定を行います。（「On」または装着ボードにより、スロットに電源供給されるとき…電源「スタンバイ」時は電源ランプ橙色点灯）

設定値 **Off**：電源供給はしません
Auto：電源「入」時に電源供給します。
電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」時は電源供給しません。
On：電源「入」時、電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）時に電源供給します。（機能動作を保持する必要のあるボードを装着のとき）

お知らせ

装着されるボードによっては設定に関わらず電源「入」時と「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）時に電源供給されます。

Power On Screen Delay(起動遅延制御)

複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。各ディスプレイごとに設定してください。

設定値
Off　：電源「入」と同時に電源が入ります。
1…30：遅延時間(秒)を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。スタンバイ時のスロット電源供給時に電源プラグを抜き差しすると、スロットへの電源供給が遅延動作します。そのとき、電源ランプは赤色点灯後、電源供給とともに橙色点灯します。

DVI Power management mode(パワーマネージメント設定)

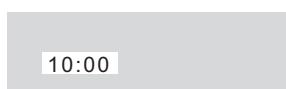
「DVI-Dパワーマネージメント」の動作モードを設定します。

設定値
Standard mode：同期信号が検知されないときにパワーマネージメントを働かせます。
Low power mode：DVI-D IN端子の+5V電源が検知されないときにもパワーマネージメントを働かせます。消費電力がより低くなります。

Clock Display(時計表示設定)

時計表示の表示/非表示を設定します

設定値
Off：時計を表示しません。
On：時計を表示します。

10:00

時計表示は、RECALL を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。

お知らせ

現在時刻が未設定の場合、「Clock Display」を「On」に設定しても時計は表示されません。(☞ 72ページ)

All Aspect(全画面モード設定)

ASPECT を押したときの画面モード切換パターンを工場出荷時の仕様から全画面モード切換仕様に設定します。

設定値
Off：工場出荷時の画面モード切換仕様
On：全画面モード切換仕様

「All Aspect」の設定を切り換えると、画面モードは次のようになります。
例)HD信号入力の場合

Off：サイドカットノーマル → サイドカットフル → サイドカットズーム → フル → サイドカットジャスト →(サイドカットノーマルへ戻る)

On：4:3 (1) → 4:3 (2) → 4:3 Full → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just1 → Just2 →(4:3 (1)へ戻る)

Auto Setup(自動位置補正)

「画面位置/サイズ」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

設定値
Manual：リモコンの AUTO SETUP を押したときや「画面位置/サイズ」メニューで自動位置補正を実行したときに動作する。
Auto　：リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。
- ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- 入力信号が切り換わったとき

Power On Message (No activity power off)(無操作自動オフ警告メッセージ)

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示/非表示を設定します。

設定値
On：電源「入」時に警告メッセージを表示します。
Off：電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。(☞ 73ページ)

Power On Message (Power Management)(パワーマネージメントお知らせメッセージ)

電源「入」時、パワーマネージメントによって電源オフされた事をお知らせするメッセージの表示/非表示を設定します。

設定値
On：電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。
Off：電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

本設定は、「パワーマネージメント」機能が「オン」の場合に有効になります。(☞ 69ページ)

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

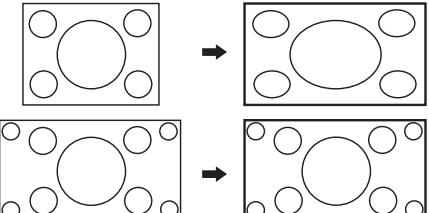
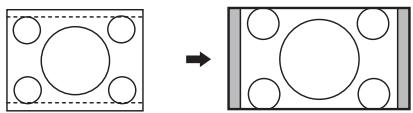
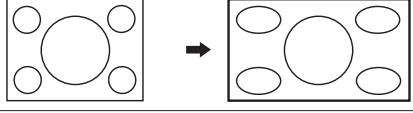
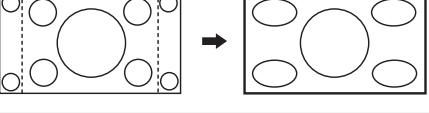
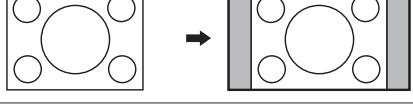
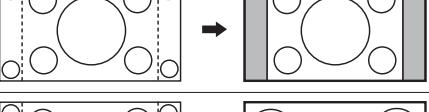
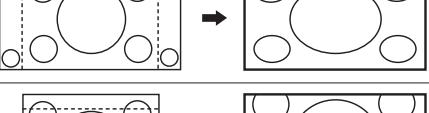
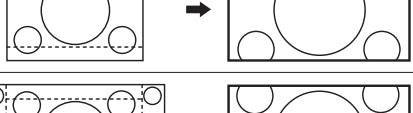
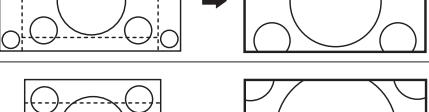
「Button lock」「Remocon User level」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体のボタン ▭ -/▼ とリモコン R を同時に5秒以上押す

「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。

- 「Button lock」「Remocon User level」の設定が「Off」に戻ります。

画面モード一覧

画面モード		映像 ➡ 拡大画面	説　明
All Aspect : On	工場出荷時 All Aspect : Off		
16:9	フル		映像を画面いっぱいに表示します。SD信号の場合は4:3の映像を横方向に拡大します。16:9のアナモフィック映像を表示するのに適しています。
14:9	ー		14:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大します。垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し小さめに表示します。映像の上下端はカットされます。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
Just / Just1	ジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。画面の左右周辺は少し伸びた表示になります。
Just2	サイドカットジャスト		4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。映像の左右端はカットされます。画面の左右端周辺は少し伸びた表示になります。
4:3 / 4:3 (1)	ノーマル		4:3映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
4:3 (2)	サイドカットノーマル		4:3の映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
4:3 Full	サイドカットフル		4:3の映像を横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の左右端はカットされます。
Zoom / Zoom1	ズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
Zoom2	サイドカットズーム		16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。
Zoom3	ー		2.35:1のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し大きめに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。

Weekly Command Timer のコマンド

No.	コマンド	制御内容
1	AAC:MENCLR	音声メニュー クリア
2	AAC:MENDYN	音声メニュー ダイナミック
3	AAC:MENSTD	音声メニュー スタンダード
4	AAC:SURMON	サラウンド ON
5	AAC:SUROFF	サラウンド OFF
6	AMT:0	音声ミュート OFF
7	AMT:1	音声ミュート ON
8	ASO:M	2画面時音声出力 主画面
9	ASO:S	2画面時音声出力 副画面
10	AVL:00	音量 00
11	AVL:10	音量 10
12	AVL:20	音量 20
13	AVL:30	音量 30
14	AVL:40	音量 40
15	AVL:50	音量 50
16	AVL:60	音量 60
17	DAM:FULL	画面モード フル
18	DAM:JUST	画面モード ジャスト
19	DAM:NORM	画面モード ノーマル
20	–	–
21	DAM:ZOOM	画面モード ズーム
22	DWA:OFF	2画面設定 OFF
23	ISS:SL1	副画面入力切換 SLOT INPUT選択
24	ISS:NW1	副画面入力切換 Panasonic APPLICATION選択
25	IMS:WB1	入力切換（2画面時は主画面）WHITEBOARD選択
26	IMS:HM2	入力切換（2画面時は主画面）HDMI2選択
27	IMS:DL1	入力切換（2画面時は主画面）DIGITAL LINK選択
28	ISS:HM2	副画面入力切換 HDMI2選択
29	ISS:DL1	副画面入力切換 DIGITAL LINK選択
30	–	–
31	DWA:PIN0	2画面時の副画面位置 右下
32	DWA:PIN1	2画面時の副画面位置 左下
33	DWA:PIN2	2画面時の副画面位置 左上
34	DWA:PIN3	2画面時の副画面位置 右上
35	DWA:PIP	2画面設定 P IN P
36	–	–
37	DWA:SWP	2画面時の主/副画面入れ換え
38	–	–
39	IMS:SL1	入力切換（2画面時は主画面）SLOT INPUT選択
40	IMS:S1A	入力切換（2画面時は主画面）SLOT INPUT A選択
41	IMS:S1B	入力切換（2画面時は主画面）SLOT INPUT B選択
42	IMS:VD1	入力切換（2画面時は主画面）VIDEO選択
43	IMS:YP1	入力切換（2画面時は主画面）COMPONENT選択
44	IMS:HM1	入力切換（2画面時は主画面）HDMI1選択
45	IMS:DV1	入力切換（2画面時は主画面）DVI選択
46	IMS:PC1	入力切換（2画面時は主画面）PC選択
47	IMS:NW1	入力切換（2画面時は主画面）Panasonic APPLICATION選択
48	ISS:S1A	副画面入力切換 SLOT INPUT A選択
49	ISS:S1B	副画面入力切換 SLOT INPUT B選択
50	ISS:VD1	副画面入力切換 VIDEO選択
51	ISS:YP1	副画面入力切換 COMPONENT選択
52	ISS:HM1	副画面入力切換 HDMI1選択
53	ISS:DV1	副画面入力切換 DVI選択
54	ISS:PC1	副画面入力切換 PC選択
55	OSP:SCR0	スクリーンセーバー白色バー OFF
56	OSP:SCR1	スクリーンセーバー白色バー ON
57	POF	電源「切」
58	PON	電源「入」
59	SSC:FNC0	スクリーンセーバー機能選択 白色バー
60	SSC:FNC1	スクリーンセーバー機能選択 色反転
61	SSC:MOD0	スクリーンセーバー動作選択 OFF
62	SSC:MOD3	スクリーンセーバー動作選択 ON
63	VMT:0※	映像ミュート OFF
64	VMT:1※	映像ミュート ON

※ リモコン操作による電源の入/切では、映像ミュート状態は解除できません。ディスプレイ本体のボタンによる電源の入/切またはコマンドVMT:0で解除されます。

表示可能な入力信号

＊：表示可能な入力信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	COMPONENT/RGB IN, PC IN (Dotclock(MHz))	DVI-D IN (Dotclock(MHz))	HDMI 1 HDMI 2
1	525 (480) / 60i	15.73	59.94	＊ (13.5)	＊ (27.0)	＊
2	525 (480) / 60p	31.47	59.94	＊ (27.0) ※5	＊ (27.0)	＊
3	625 (575) / 50i	15.63	50.00	＊ (13.5)		
4	625 (576) / 50i	15.63	50.00		＊ (27.0)	＊
5	625 (575) / 50p	31.25	50.00	＊ (27.0)		
6	625 (576) / 50p	31.25	50.00		＊ (27.0)	＊
7	750 (720) / 60p	45.00	60.00	＊ (74.25)	＊ (74.25)	＊
8	750 (720) / 50p	37.50	50.00	＊ (74.25)	＊ (74.25)	＊
9	1,125 (1,080) / 60p	67.50	60.00	＊ (148.5) ※1	＊ (148.5)	＊
10	1,125 (1,080) / 60i	33.75	60.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	＊
11	1,125 (1,080) / 50p	56.26	50.00	＊ (148.5) ※1	＊ (148.5)	＊
12	1,125 (1,080) / 50i	28.13	50.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	＊
13	1,125 (1,080) / 24psF	27.00	48.00	＊ (74.25) ※2		
14	1,125 (1,080) / 30p	33.75	30.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	
15	1,125 (1,080) / 25p	28.13	25.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	
16	1,125 (1,080) / 24p	27.00	24.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	＊
17	1,250 (1,080) / 50i	31.25	50.00	＊ (74.25) ※3		
18	2,048 × 1,080 / 24psF ※7	27.00	48.00			
19	2,048 × 1,080 / 24p ※7	27.00	24.00			
20	640 × 400 @70 Hz	31.46	70.07	＊ (25.17)		
21	640 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	＊ (25.18) ※6	＊ (25.18)	＊
22	640 × 480 @72 Hz	37.86	72.81	＊ (31.5)		
23	640 × 480 @75 Hz	37.50	75.00	＊ (31.5)		
24	640 × 480 @85 Hz	43.27	85.01	＊ (36.0)		
25	800 × 600 @56 Hz	35.16	56.25	＊ (36.0)		
26	800 × 600 @60 Hz	37.88	60.32	＊ (40.0)	＊ (40.0)	＊
27	800 × 600 @72 Hz	48.08	72.19	＊ (50.0)		
28	800 × 600 @75 Hz	46.88	75.00	＊ (49.5)		
29	800 × 600 @85 Hz	53.67	85.06	＊ (56.25)		
30	852 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	＊ (33.54) ※6	＊ (34.24)	＊
31	1,024 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		＊ (51.89)	＊
32	1,024 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	＊ (65.0)	＊ (65.0)	＊
33	1,024 × 768 @70 Hz	56.48	70.07	＊ (75.0)		
34	1,024 × 768 @75 Hz	60.02	75.03	＊ (78.75)		
35	1,024 × 768 @85 Hz	68.68	85.00	＊ (94.5)		
36	1,066 × 600 @60 Hz	37.64	59.94	＊ (53.0)	＊ (53.0)	＊
37	1,152 × 864 @60 Hz	53.70	60.00		＊ (81.62)	＊
38	1,152 × 864 @75 Hz	67.50	75.00	＊ (108.0)		
39	1,280 × 768 @60 Hz	47.70	60.00	＊ (80.14)		
40	1,280 x 800 @60 Hz (1)	49.31	59.91	＊ (71.0)	＊ (71.0)	＊
41	1,280 x 800 @60 Hz (2)	49.70	59.81	＊ (83.5)	＊ (83.5)	＊
42	1,280 × 960 @60 Hz	60.00	60.00	＊ (108.0)		
43	1,280 × 960 @85 Hz	85.94	85.00	＊ (148.5)		
44	1,280 × 1,024 @60 Hz	63.98	60.02	＊ (108.0)	＊ (108.0)	＊
45	1,280 × 1,024 @75 Hz	79.98	75.03	＊ (135.0)		
46	1,280 × 1,024 @85 Hz	91.15	85.02	＊ (157.5)		
47	1,366 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		＊ (69.92)	＊
48	1,366 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	＊ (86.71)	＊ (87.44)	＊
49	1,400 × 1,050 @60 Hz	65.22	60.00		＊ (122.61)	＊
50	1,440 x 900 @60 Hz (1)	55.47	59.90	＊ (88.75)	＊ (88.75)	＊
51	1,440 x 900 @60 Hz (2)	55.93	59.89	＊ (106.5)	＊ (106.5)	＊
52	1,600 × 1,200 @60 Hz	75.00	60.00	＊ (162.0)	＊ (162.0)	＊
53	1,600 × 1,200 @65 Hz	81.25	65.00	＊ (175.5)		
54	1,920 × 1,080 @60 Hz	67.50	60.00	＊ (148.5) ※4	＊ (148.5)	＊
55	1,920 × 1,200 @60 Hz	74.04	59.95		＊ (154.0)	＊
56	Macintosh13” (640 × 480)	35.00	66.67	＊ (30.24)		
57	Macintosh16” (832 × 624)	49.72	74.54	＊ (57.28)		
58	Macintosh21” (1,152 × 870)	68.68	75.06	＊ (100.0)		

※1　SMPTE 274M準拠。　※2　SMPTE RP211準拠。　※3　SMPTE 295M準拠。

※4　1,125 (1,080) / 60p として認識します。

※5　PC INに525p信号を入力し、RGBフォーマット選択した場合、VGA 60 Hzとして認識します。

※6　PC IN以外の入力端子にVGA 60 Hzフォーマットの信号が入力された場合、525pとして認識します。

※7　SMPTE 292M, 372M準拠。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）装着時に受像可能となります。

表示可能な入力信号

ビデオ入力（VIDEO）

	信号名	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	NTSC	15.73	59.94
2	PAL	15.63	50.00
3	PAL60	15.73	59.94
4	SECAM	15.63	50.00
5	M.NTSC	15.73	59.94

工場出荷時の設定に戻すには

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「画面位置/サイズ」「テクニカル」「オプション」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

	リモコン操作	本体操作
1	SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。	MENU を数回押して「初期設定」メニュー画面を表示する。
2	① 押して「表示言語切換」を選択する。 ② 3秒以上押す。	−/▼ または +/▲ を押して「表示言語切換」を選択する。
3	① 押して「Shipping」を選択する。 ② 押して「Shipping」画面を表示する。	ENTER/■ を5秒以上押す。
4	① 押して「YES」を選択する。 ② 押す。	+/▲ ❶ 押して「YES」を選択する。 ENTER/■ ❷ 押す。
5	10秒以上待った後、本体の電源（⏻/|）スイッチを押して電源を切る。	

修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があり、これは故障ではありません。	―
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグが外れていませんか。	11
電源が自動的に切れる	●「無信号自動オフ」、「PCパワーマネージメント」、「DVI-Dパワーマネージメント」、「HDMI1パワーマネージメント」、「HDMI2パワーマネージメント」または「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	69・73
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	―
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当っていませんか。 ● 本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません） ● オプションメニューの「Remocon User level」設定を「Off」以外にしていませんか。	― ― ― 79
マルチタッチ操作できない	●「初期設定」メニューの「タッチスクリーン」が「オフ」に設定されていませんか。 ● タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。 蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。 太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置してください。 白熱電灯：最も赤外光が含まれ影響されやすいので、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。 ● 外部からの強力なノイズにより、タッチパネルのマイコンが、誤動作することがありますので、ノイズ源をできるだけ離してください。	61 ― ―
本機から時々、「ピシッ」と音がする	● 画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	―
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	―
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	―
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	56
色模様が出たり色が消える	● 他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	―
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	51～53
ズームにしたとき画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	26・27
映像の輪郭がチラチラする	● パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	―
ディスプレイ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	● 本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。 排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	―
本体のボタンで操作できない	● オプションメニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていませんか。	79
映像、音声が出ないことがある。	● HDMI信号やDVI信号をセレクタや分配器を通して本ディスプレイに入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクタや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	―
RS-232C制御ができない	● 接続は正しく行われていますか。 ● 16ページのRS-232CコマンドをディスプレイのSERIAL端子から制御する場合は、「制御端子選択」が「RS-232C」、DIGITAL LINK機器のRS-232C端子から制御する場合は「制御端子選択」が「DIGITAL LINK/LAN」および「DIGITAL LINKモード」が「DIGITAL LINK (RS-232C)」になっていますか。	16 ※
LAN制御ができない	● 接続は正しく行われていますか。 ● WEB ブラウザコントロール、コマンドコントロールで制御する場合は、「制御端子選択」が「DIGITAL LINK/LAN」になっていますか。	※

こんなとき	ここをお調べください	参　照ページ
LAN制御ができない	● AMX社、Crestron Electronics, Inc.、Extron社の機器を接続している場合は､「AMX D.D.」設定「Crestron Connected™」設定､「Extron XTP」設定をお使いに機器に合わせて設定してください。 ●「DIGITAL LINKステータス」の「信号品質」情報を参照し、LANケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていないなど、LANケーブルの状態等を確認ください。	※
DIGITAL LINK 端子の映像または音声が出ない	● 映像（出力）機器とツイストペアケーブル伝送器、ツイストペアケーブル伝送器と本機との接続は正しく行われていますか。 ● [DIGITAL LINK モード] が [LAN] になっていませんか。	※
メール送信ができない	● WEBブラウザのEメール設定は正しく行われていますか。	※

※ネットワークやDIGITAL LINK、Eメールの設定については取扱説明書「ネットワーク操作編」をご覧ください。

Miracastをご使用のとき

Miracast 接続でお困りの場合は、以下の項目を参考にしてください。

Miracast 接続できない

- 無線LANの設定が「オフ」になっていませんか。
- 本機の入力は［Miracast(TM)］が正しく選択されていますか。
- Miracast 対応端末の設定を確認してください。Miracast の接続方法については、Miracast 対応端末の取扱説明書をお読みください。
- Miracast 対応端末と本機の間に障害物はありませんか。また、Miracast 対応端末が本機から離れすぎていませんか。障害物を取り除き、Miracast 対応端末を近づけてください。
- Miracast 対応端末などで「ペア設定されたディスプレイ」という欄に接続情報が残ることがありますが、その画面からは再接続はできません、接続可能な機器の一覧から接続してください。
- お使いのMiracast 対応端末の機種や状態によっては、正常に接続出来ないことがあります。

突然接続できなくなり、画像が更新されなくなった

- Miracast 待ち受け画面が表示されない、正常な音が出ない、接続できないなどが発生した場合、次の方法で、復帰操作を行ってください。
  - 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - Miracast 対応端末および本機の電源を入れ直してください。

Miracast の映像が乱れる

- 無線LAN のモードを「S-DIRECT」または「M-DIRECT」に設定してください。
- Miracast 接続は無線を使用しているため、電波環境によっては映像が乱れることがあります。このようなときは、次のことをお試しください。
  - Miracast 対応端末と本機を近づけてください。
  - 電子レンジ・ゲーム機など電磁波を発する他の機器から、離して設置してください。それでも改善しない場合は、電磁波を発する他の機器の使用を控えてください。
  - 複数台の無線機器が同一ルーターに接続されている場合、無線の帯域が不足していることがあります。使用していない機器の電源を切るか、他の機器の使用を控えてください。
- コンテンツ自身に問題があると映像が乱れる場合がありますので、コンテンツをご確認ください。
- お使いのMiracast 対応端末によっては、Miracast の映像が乱れることがあります。これは、Miracast 対応端末の処理能力や無線伝送性能に起因した症状で、本機の故障ではありません。

Miracast 接続した後、放置していたらMiracast 接続が切れた

- お使いのMiracast 対応端末の設定によっては、一定時間で接続が切れる場合があります。端末の省電力の設定などをご確認ください。
- 無線ドライバーやファームウェアの更新によって改善される場合があります。お使いの端末メーカーのサポート窓口にもお問い合わせください。

その他

- お使いのMiracast 対応端末によっては、"from UNKNOWN" という接続者名で再接続の確認画面が表示される場合がありますが、その場合再接続はできませんので、CANCEL を選択してください。
- お使いのMiracast 対応端末によっては、接続時に「デバイスの削除」を求められることがあります。その場合、端末の指示に従ってデバイスを削除してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

86 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル

0120-878-410（パナハ　ヨイワ）　**受付： 9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

	品番	TH-50LFB70J（50V型）※	TH-65LFB70J（65V型）※
本体	種類	ハイビジョン液晶ディスプレイ	
	使用電源	AC100 V ±10 %　50 Hz ／ 60 Hz	
	消費電力	140 W	215 W
		本体電源「切」時　約 0.3 W リモコンで電源「切」時　約 0.5 W	
	音声実用最大出力	20 W（10 W ＋ 10 W）JEITA	
	スピーカー	フルレンジ：12 cm×4 cm 2個	
	液晶 ディスプレイパネル	VAパネル（LEDバックライト）	
		50V 型※（アスペクト比16：9）	65V 型※（アスペクト比16：9）
	画面寸法	幅 109.5 cm　高さ 61.6 cm 対角 125.7 cm	幅 142.8 cm　高さ 80.3 cm 対角 163.8 cm
	画素数	2,073,600画素（水平1,920×垂直1,080） [ドット数5,760×1,080]	
	動作使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃　　湿度：20 %～ 80 %（結露のないこと）	
	ビデオ入力端子 AV IN	VIDEO　BNC接栓　1.0 V [p-p] (75 Ω) AUDIO 1 IN　M3ジャック×1　0.5 V [rms] COMPONENT/RGB IN と共用	
	HDMI入力端子 HDMI1・HDMI2	TYPE Aコネクター×2	
	コンポーネント ビデオ/ RGB入力端子 COMPONENT/RGB IN	Y/G　BNC接栓　1.0 V [p-p] (75 Ω)　同期信号を含む P_B/C_B/B　BNC接栓　0.7 V [p-p] (75 Ω) P_R/C_R/R　BNC接栓　0.7 V [p-p] (75 Ω) AUDIO 1 IN　M3ジャック×1　0.5 V [rms]　VIDEO と共用	
	デジタルRGB入力端子 DVI-D IN	DVI-D 24ピン　DVI Revision 1.0準拠　HDCP 1.1対応 AUDIO 2 IN　M3ジャック×1　0.5 V [rms]　PC INと共用	
	パソコン入力端子 PC IN	ミニD-sub 15ピン SXGA対応：マルチスキャン方式（DDC2B対応） ＊対応周波数：水平15 kHz ～ 110 kHz　垂直48 Hz ～ 120 Hz （但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示）	
		Y/G　1.0 V [p-p] (75 Ω)　同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω)　非同期信号時 P_B/C_B/B　0.7 V [p-p] (75 Ω) P_R/C_R/R　0.7 V [p-p] (75 Ω) HD/VD　1.0 ～ 5.0 V [p-p]（ハイインピーダンス） AUDIO 2 IN　M3ジャック×1　0.5 V [rms]　DVI-D INと共用	
	シリアル端子 SERIAL	外部制御用端子 D-sub 9ピン　RS-232C準拠	
	モニターアウト端子 PC OUT	R　0.7 V [p-p] (75 Ω) G　0.7 V [p-p] (75 Ω) B　0.7 V [p-p] (75 Ω) HD/VD　3.5 ～ 5.0 V [p-p]	
	USBメモリー端子 USB (VIEWER)	USBコネクター　TYPE A	
	パソコン接続端子 USB (TOUCH)	USBコネクター　TYPE B	
	DIGITAL LINK端子 DIGITAL LINK, LAN	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK接続用、PJLink™対応 通信方式：RJ45　100BASE-TX	
	外部スピーカー端子 EXT SP	8 Ω、20 W [10 W ＋ 10 W]（10 % THD）	
	外形寸法	幅 118.5 cm　高さ 70.5 cm　奥行 10.3 cm	幅 151.7 cm　高さ 89.2 cm　奥行 10.6 cm
	質量	約　33.0 kg	約　58.0 kg
	キャビネット材質	金属（前面、バックカバー）	

	品番	N2QAYB000691
リモコン	使用電源	DC 3 V（単3形乾電池2個）
	操作距離	約 7 m以内（液晶ディスプレイ正面距離）
	使用範囲	受信部左右：30°以内、受信部上下：20°以内
	質量	約 100 g（乾電池含む）

※ ディスプレイのＶ型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

当製品に関するソフトウェア情報

この製品は、下記のソフトウェアを搭載しております。
（1）パナソニック株式会社の独自開発ソフトウェア
（2）GNU GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
（3）GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
（4）第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
（5）オープンソースソフトウェア

上記（2）と（3）のソフトウェアに関するライセンス条件に関しては、CD-ROM 内のソフトウェアライセンス文（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE 並びにGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）の規定をご参照ください。（なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。）
これらのソフトウェアに関するご質問は、E メール（oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com）でお問い合わせください。

上記(5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、下記に掲載されるライセンス条件をご参照ください。

zlib License
Copyright (c) 2002-2013 MediaArea.net SARL. All rights reserved.

This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MediaInfo(Lib) License
Copyright (c) 2002-2013 MediaArea.net SARL. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及びMPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報をAVC 規格、VC-1 規格及びMPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。
詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

商標について

- VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Internet Exproler® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- RoomView、Crestron RoomView、Fusion RV は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- Miracast は Wi-Fi Alliance の商標です。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高周波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社
〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

M0314-0